



レスブリVシリーズ セットアップガイド

AVATO
DCS & Labeling Worldwide
目次

1. はじめに	1
2. セットアップ手順	
付属品の確認をおこなってください	2
プリンタドライバインストールまでの作業手順	3
プリンタ本体の準備をおこなってください	4
USB インタフェース接続(標準)	7
LAN インタフェース接続(標準)	8
RS-232C インタフェース接続(標準)	9
パラレルインタフェース接続(オプション)	11
無線 LAN インタフェース接続(オプション)	12
3. LAN インタフェース設定	
はじめに	16
プリンタ本体を確認してください	16
プリンタ設定ツールを起動します	16
プリンタに IP アドレスを設定します	18
4. 無線 LAN インタフェース設定	
はじめに	24
プリンタ本体を確認してください	24
ネットワークユーティリティを起動します	24
プリンタに IP アドレスを設定します	25
その他の設定	28
プリンタから IP アドレスなどの設定情報を印字させるには	44
5. プリンタドライバのインストール方法(USB)	45
6. プリンタドライバのインストール方法(USB 以外)	
はじめに	55
パラレルポート インストール	58
RS-232C ポート インストール	59
LAN ポート インストール	60
7. ラベル発行までの流れ	
(Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7)	61
8. プリンタドライバのアンインストール方法	70
9. ファイル保存方法	72
10. ファイル読み込み方法	74
11. プリンタドライバ共有機能	76
12. Q&A	78
13. レスブリ互換モード設定	79
14. アクセサリ CD-ROM	80
15. ご注意	83

プリンタの設置/据置き作業がおこなわれた後、セットアップ作業をおこなってください。本セットアップガイドは、プリンタを使用可能な状態にするまでの作業手順が記載されています。

1. はじめに

本書は、レスプリVシリーズプリンタを、プリンタドライバを使用して動作させるまでの説明書です。

レスプリVシリーズプリンタは、レスプリ T408v/T412v、レスプリ R408v/R412v で構成されています。

各プリンタのプリンタドライバをインストールする場合は、下表のドライバ名称のプリンタドライバをインストールしてください。



ドライバ名称	対応機種
SATO Lesprit408v	レスプリ T408v、R408v
SATO Lesprit412v	レスプリ T412v、R412v

「Windows XP」、「Windows Server 2003」、「Windows Vista」、「Windows Server 2008」、「Windows 7」でプリンタを使う場合に必要な設定方法を中心に説明しています。

プリンタドライバとは、こんなソフトです。

- ① コンピュータで作成したデータ（文書や絵）を…
- ② プリンタに送り出し…
- ③ ラベルに印刷する作業をおこないます。

2. セットアップ手順

付属品の確認をおこなってください

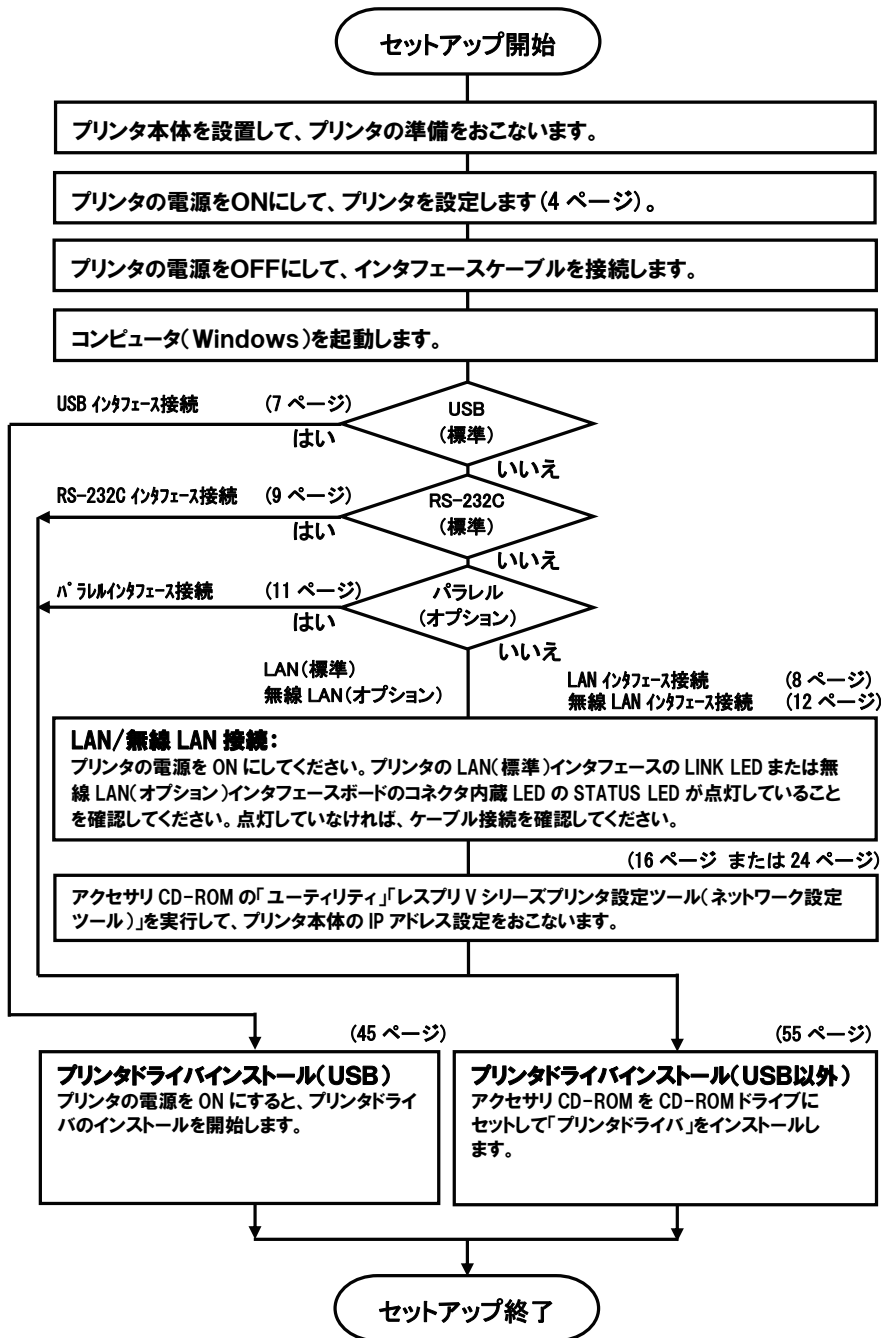
プリンタを箱から出しましょう。箱を開けたら、付属品を確認してください。付属品についての詳しい説明は、「取扱説明書」をご確認ください。取扱説明書の手順に従って、プリンタを設置してください。

付 属 品

1. 取扱説明書
2. セットアップガイド（本書）
3. 保証書/メンテナンス案内書
4. クリーニングペン
5. SATO アクセサリ CD-ROM
6. 電源コード/AC アダプタ
7. 3 極-2 極変換アダプタ
8. テスト用ラベル
9. テスト用カーボンリボン（熱転写仕様のみ同梱されています。）
10. ポリウム調整用ドライバ（プリンタ本体に同梱されています。）
11. リボンアダプタ（熱転写仕様のみ同梱されています。）
12. USB ケーブル

- パラレルインターフェースで接続するとコンピュータとプリンタとの間で双方向通信ができます。正しく接続するために、必ず推奨品の IEEE1284 準拠ケーブルをお使いください。
- RS-232C インターフェースを接続する場合、必ず推奨品の RS-232C ケーブルをお使いください。
- プリンタドライバは、「SATO アクセサリ CD-ROM」に収納されています。
- 電源について
本体→AC アダプタ→電源コードとつなげます。本体に AC アダプタを差し込むときは、上下を確認してしっかりと接続してください。
コンセントによっては 3 極-2 極変換アダプタを使用してください。
必ずアース線をアースに接続してください。接続しないと感電の原因になります。
- 本プリンタに付属の電源コードセットは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

プリンタドライバをインストールするまでの作業手順



プリンタ本体の準備をおこなってください

準備1. はじめにプリンタ本体の動作条件を設定してください。

設定1. プリンタ本体の動作条件を設定してください。

プリンタ設定ツールによりプリンタ本体の動作条件を設定してください。

※ 詳しい内容は、アクセサリ CD-ROM に収められている「レスプリ V シリーズプリンタ設定ツール説明書」(PDF) をご確認ください。

設定2. ディップスイッチ(DSW1)を設定してください。

ディップスイッチ(DSW1)設定表

NO	機能	説明			
1 2 3	モード切替	DSW1-1	DSW1-2	DSW1-3	動作モード
		OFF	OFF	OFF	連続
		ON	OFF	OFF	ティアオフ
		OFF	ON	OFF	カット
		ON	ON	OFF	ハクリ
		OFF	OFF	ON	ノンセバ
		ON	ON	ON	パーシャルカット
		OFF	ON	ON	フォントダウンロード
		ON	OFF	ON	ファームダウンロード
		4	印字方式	ON : 熱転写 OFF : 感熱	
5	ヘッドチェック	ON : 有効 OFF : 無効			
6	VR1 調整選択	ON : 印字濃度調整 OFF : オフセット停止位置調整			
7	ダンプモード	ON : 有効 OFF : 無効			
8	インタフェース切替	ON : LAN インタフェース (USB+LAN タイプ) RS-232C インタフェース (USB+RS-232C タイプ) OFF : USB インタフェース			

設定3. ディップスイッチ(DSW2)を設定してください(RS-232C 使用時のみ)。

(USB+RS-232C タイプのみになります。)

ディップスイッチ(DSW2)設定表

NO	機能	説明		
1	データビット長	ON : 7ビット OFF : 8ビット (初期値)		
2 3	パリティビット	DSW2-2	DSW2-3	パリティ設定
		ON	ON	未使用
		ON	OFF	奇数
		OFF	ON	偶数
OFF	OFF	無し (初期値)		
4	ストップビット	ON : 2ビット OFF : 1ビット (初期値)		
5 6	ボーレート	DSW2-5	DSW2-6	ボーレート
		ON	ON	57600bps
		ON	OFF	38400bps
		OFF	ON	19200bps (初期値)
OFF	OFF	9600bps		
7 8	通信プロトコル	DSW2-7	DSW2-8	プロトコル
		ON	ON	ステータス 4 (マルチ受信)
		ON	OFF	ステータス 3 返送 (マルチ受信)
		OFF	ON	XON/XOFF (マルチ受信)
OFF	OFF	READY/BUSY (1 アイテム、マルチ受信切替可) (初期値)		

設定4. ディップスイッチ(DSW3)を設定してください。

(USB+LAN タイプの場合)

ディップスイッチ(DSW3)設定表

NO	機能	説明
1	未使用	通常 OFF 設定
2	レスプリ互換モード	通常 ON 設定
		DSW3-2 レスプリ互換モード
		ON 標準モード
		OFF 互換モード

(USB+RS-232C タイプの場合)

ディップスイッチ(DSW3)設定表

NO	機能	説明
1	標準/オプション インタフェース切替	DSW3-1 標準/オプションインタフェース
		ON オプションインタフェース
		OFF 標準インタフェース
		DSW1-8 が ON の場合、RS-232C インタフェース DSW1-8 が OFF の場合、USB インタフェース
2	レスプリ互換モード	通常 ON 設定
		DSW3-2 レスプリ互換モード
		ON 標準モード
		OFF 互換モード

準備2. 電源ケーブルをプリンタに接続してください。

準備3. お使いになるラベル、リボンをセットしてください。

- オプションインタフェースの場合、ディップスイッチ(DSW1-8)(4 ページ)は ON/OFF のどちらに設定しても問題ありません。
- ヘッドチェックはヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保证する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします。

- バーコードをイメージ(BMP など)で作成するツールにて作成し、当社プリンタにて印字出力した場合、スキャナなどで読取りできない場合があります。これらのツールはあくまでもバーコードをイメージで作成するため、正しいデータにならない場合があるためです。このため、スキャナなどでバーコード読取りできない場合は、プリンタおよびプリンタドライバのバーコード不具合ではありませんので、これらのツールを使用された場合の読取りについては保証いたしませんのでご注意ください。

この内容はイメージでバーコードを印刷時のトラブルを防ぐためホームページのドライバダウンロードサイトの注意書きとして掲載しています。

<http://www.sato.co.jp/download/software/content/section/4/9/#attention>

プリンタの電源が OFF のときに、インタフェースケーブルを接続してください。

USB インタフェース接続(標準)

プリンタの USB インタフェースを確認してください。
下図のように USB ケーブルを接続してください。

USB+LAN タイプ



図 1.1 プリンタ背面



図 1.2 USB ケーブル接続

USB+RS-232C タイプ



図 1.3 プリンタ背面



図 1.4 USB ケーブル接続

USB インタフェース仕様

USB インタフェース接続(標準インタフェース)の場合、ディップスイッチ(DSW1-8)(4 ページ)を OFF に設定します。

- USB 接続ではプリンタの電源を ON にすると、プリンタドライバのインストールを開始します。
- USB ケーブルは、2 メートル長以内のケーブルを推奨しています。
2 メートル長以内のケーブルをお使いください。

USB ケーブルと本プリンタとの接続準備はこれで完了です。次は「プリンタドライバのインストール方法 (USB)」(45 ページ)をご覧ください。

LAN インタフェース接続(標準)

プリンタの LAN インタフェースを確認してください。
下図のように LAN ケーブルを接続してください。

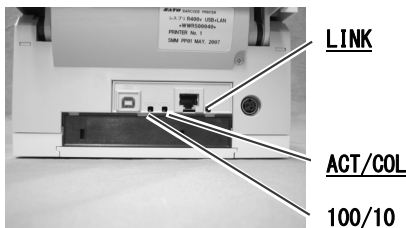


図 2.1 プリンタ背面



図 2.2 LAN ケーブル接続

LAN インタフェースの LED

LED	機 能
100/10	接続先を 10BASE-T と認識したときに消灯します。 接続先を 100BASE-TX と認識したときに橙点灯します。
ACT/COL	パケットを受信したときに赤点滅します。
LINK	LINK を確立したときに緑点灯します。

LAN インタフェース仕様

10BASE-T/100BASE-TX は自動認識します。
プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。

LAN インタフェース接続(標準インタフェース)の場合、ディップスイッチ(DSW1-8)(4 ページ)を ON に設定します。

受信モードの初期値は、「ENQ 応答モード」になります。

プリンタドライバは、専用 SOCKET インタフェースを使用してデータ通信をおこないます。

LAN インタフェース接続(標準インタフェース)の場合、お客様のネットワーク環境にあわせた通信条件設定が必要です。プリンタ本体の IP アドレスを設定してください。

プリンタ本体の IP アドレスは、付属品のアクセサリ CD-ROM にあるレスプリ V シリーズプリンタ設定ツール(ネットワーク設定ツール)を使って設定します。

レスプリ V シリーズプリンタ設定ツール(ネットワーク設定ツール)の使用方法は、16 ページ以降をご覧ください。

- レスプリ V シリーズプリンタ設定ツール(ネットワーク設定ツール)を使うと、コンピュータからプリンタの IP アドレスの設定や設定内容の表示・印刷確認ができます。

RS-232C インタフェース接続(標準)

プリンタのRS-232C インタフェースを確認してください。

下図のようにRS-232C ケーブルを接続してください。

RS-232C インタフェースの通信条件を設定する場合、①プリンタの電源を切り、②RS-232C ケーブルを取り外し、③プリンタにセットしているラベルを外し、④プリンタ底面のカバーを取り外してからディップスイッチ (DSW2) の設定をおこなってください。



図 3.1 プリンタ背面



図 3.2 RS-232C ケーブル接続

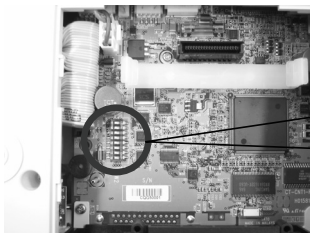


図 3.3 プリンタ底面

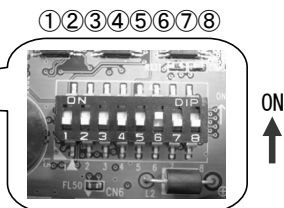


図 3.4 ディップスイッチ (DSW2)

RS-232C インタフェース仕様

通信速度 :9600bps、19200bps、38400bps、57600bps

データ長 :7ビット、8ビット

ストップビット :1ビット、2ビット

パリティビット :無し、奇数、偶数

通信プロトコル :4種類

READY/BUSY(ER制御)、XON/XOFF、ステータス4、ステータス3

RS-232C インタフェース接続(標準インタフェース)の場合、ディップスイッチ(DSW1-8)(4ページ)をONに設定します。

RS-232C インタフェース接続(標準インタフェース)の場合、コンピュータの通信設定にあわせて、プリンタの通信設定をおこなってください。

通信条件は、ディップスイッチ(DSW2)で設定します。

RS-232C インタフェースの通信条件設定

No	機能	説明															
1	データビット長	ON : 7ビット OFF : 8ビット (初期値)															
2 3	パリティビット	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DSW2-2</th> <th>DSW2-3</th> <th>パリティビット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>奇数</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>偶数</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>無し (初期値)</td> </tr> </tbody> </table>	DSW2-2	DSW2-3	パリティビット	ON	ON	未使用	ON	OFF	奇数	OFF	ON	偶数	OFF	OFF	無し (初期値)
DSW2-2	DSW2-3	パリティビット															
ON	ON	未使用															
ON	OFF	奇数															
OFF	ON	偶数															
OFF	OFF	無し (初期値)															
4	ストップビット	ON : 2ビット OFF : 1ビット (初期値)															
5 6	ボーレート	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DSW2-5</th> <th>DSW2-6</th> <th>ボーレート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>57600bps</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>38400bps</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>19200bps (初期値)</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>9600bps</td> </tr> </tbody> </table>	DSW2-5	DSW2-6	ボーレート	ON	ON	57600bps	ON	OFF	38400bps	OFF	ON	19200bps (初期値)	OFF	OFF	9600bps
DSW2-5	DSW2-6	ボーレート															
ON	ON	57600bps															
ON	OFF	38400bps															
OFF	ON	19200bps (初期値)															
OFF	OFF	9600bps															
7 8	プロトコル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DSW2-7</th> <th>DSW2-8</th> <th>プロトコル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ステータス 4 (マルチ受信)</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ステータス 3 (マルチ受信)</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>XON/XOFF (マルチ受信)</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>READY/BUSY (1 アイテム、マルチ受信切替可) (初期値)</td> </tr> </tbody> </table>	DSW2-7	DSW2-8	プロトコル	ON	ON	ステータス 4 (マルチ受信)	ON	OFF	ステータス 3 (マルチ受信)	OFF	ON	XON/XOFF (マルチ受信)	OFF	OFF	READY/BUSY (1 アイテム、マルチ受信切替可) (初期値)
DSW2-7	DSW2-8	プロトコル															
ON	ON	ステータス 4 (マルチ受信)															
ON	OFF	ステータス 3 (マルチ受信)															
OFF	ON	XON/XOFF (マルチ受信)															
OFF	OFF	READY/BUSY (1 アイテム、マルチ受信切替可) (初期値)															

●RS-232C ケーブルは、設定された通信プロトコルによりケーブル結線が異なりますのでご注意ください。ケーブルを間違えると、正常に動作しません。

1. READY/BUSY 使用時

(SD) 2	————	2 (RD)
(RD) 3	————	3 (SD)
(RS) 4	————	6 (DR)
(CS) 5	————	4 (ER)
(DR) 6	————	7 (RS)
(ER) 20	————	8 (CS)
プリンタ		ホスト
DB-25P		DB-9P

2. XON/XOFF、ステータス 3、ステータス 4

(SD) 2	————	2 (RD)
(RD) 3	————	3 (SD)
(RS) 4	□ □	8 (CS)
(CS) 5	□ □	7 (RS)
(DR) 6	□ □	4 (ER)
(ER) 20	□ □	6 (DR)
プリンタ		ホスト
DB-25P		DB-9P

●RS-232C インタフェースの詳細については、アクセサリ CD-ROM 「SBPL プログラミングガイド」をご確認ください。

●コンピュータとの通信設定があっていないと正常動作しません。通信エラーになります。

●プリンタドライバを使用するときには、必ず通信プロトコルを「ステータス 4」に設定してください。

パラレルインタフェース接続(オプション)

プリンタの平行インタフェースボードを確認してください。

下図のように平行ケーブル (IEEE1284 準拠) を接続してください。

平行インタフェースのオプションインタフェースを設定する場合、①プリンタの電源を切り、②平行ケーブル (IEEE1284 準拠) を取り外し、③プリンタにセットしているラベルを外し、④プリンタ底面のカバーを取り外してからディップスイッチ (DSW3-1) を ON に設定してください。



図 4.1 プリンタ背面



図 4.2 パラレルケーブル接続



図 4.3 プリンタ底面

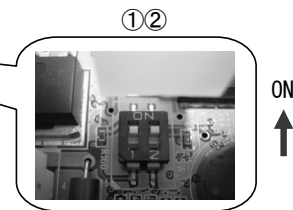


図 4.4 ディップスイッチ DSW3

パラレルインタフェース接続(オプションインタフェース)の場合、ディップスイッチ(DSW3-1)を ON に設定します。

パラレルインタフェース仕様

IEEE1284 準拠: 互換モード、ECP モード、ニブルモードをサポートします。

ECP モードは、コンピュータの機種によりサポートしていないことがあります。

- IEEE1284 準拠ケーブル以外のケーブルを使用される場合、データ化けが発生することがありますので、必ず推奨品の IEEE1284 準拠ケーブル(オプション)をお使いください。
- コンピュータの機種によっては、ECP モードの設定をおこなっても ECP 動作をおこなわない機種があります。コンピュータメーカーへお問合せください。

無線 LAN インタフェース接続(オプション)

プリンタの無線 LAN インタフェースボードを確認してください。

無線 LAN インタフェースのオプションインタフェースを設定する場合、①プリンタの電源を切り、②プリンタにセットしているラベルをはずし、③プリンタ底面にあるカバーを取り外してからディップスイッチ (DSW3-1) を ON に設定してください。

また、無線 LAN インタフェースボードの DSW の設定を変更する場合、①プリンタの電源を切り、②プリンタにセットしているラベルをはずし、③プリンタ底面にあるカバーを取り外してからおこなってください。

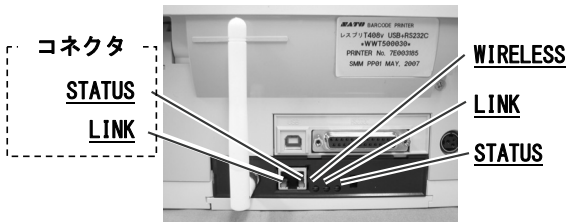


図 5.1 プリンタ背面 [1]



図 5.2 プリンタ背面 [2]

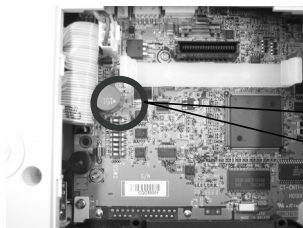


図 5.3 プリンタ底面

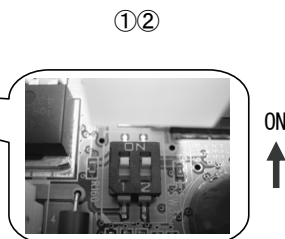


図 5.4 ディップスイッチ (DSW3)

無線 LAN インタフェース接続(オプションインタフェース)の場合、ディップスイッチ(DSW3-1)を ON に設定します。

無線 LAN インタフェースの通信モードは無線 LAN インタフェースボードのディップスイッチ (DSW) にて指定します。

受信モードの初期値は、「ENQ 応答モード」になります。

- 無線 LAN インタフェースを使用する場合は、LAN ケーブルを接続せずに電源を投入してください。LAN ケーブルを接続して電源投入後、LAN ケーブルを取り外しても無線 LAN インタフェースには切り替わりません。

無線 LAN インタフェースボードの DSW



図 5.5 無線 LAN インタフェースボード

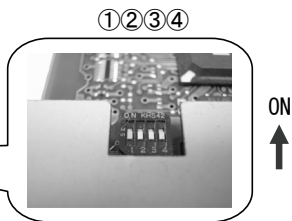


図 5.6 ディップスイッチ(DSW)

NO	機能
1	未使用
2	無線 LAN インタフェースボード設定情報初期化
3	無線 LAN インタフェースボード設定情報印字/自己診断印字 (IP アドレスなどの設定情報と無線 LAN インタフェースボードの診断結果を印字します)
4	通信モード ON : Infrastructure OFF : Ad Hoc (初期値)

※ 上表は、ディップスイッチ(DSW-2、3)を、ON にしてプリンタの電源を入れたときの動作になります。

無線 LAN インタフェースボードの通信モードの初期値は、「Ad Hoc」になります。

LAN インタフェース使用時

・無線 LAN インタフェースボードのコネクタ内蔵 LED

LED	機能
LINK	LAN 接続で検出したときに点灯します。 LAN 接続で検出待ち状態のときに点滅します。
STATUS	パケットを受信したときに点灯します。

・無線 LAN インタフェースボードの LED

LED	機能
WIRELESS	未使用 (消灯)
LINK	未使用 (消灯)
STATUS	未使用 (消灯)

無線 LAN インタフェース使用時

・無線 LAN インタフェースボードのコネクタ内蔵 LED

LED	機能	
LINK	無線 LAN の電波強度	点灯：強 (75~100%) 点滅：中 (50~75%) 消灯：弱 (0 ~50%)
STATUS	未使用 (消灯)	

・無線 LAN インタフェースボードの LED

LED	機能
WIRELESS	Infrastructure モードで動作したときに点灯します。 Ad Hoc モードで動作したときに点滅します。
LINK	無線 LAN 接続で検出したときに点灯します。 無線 LAN 接続で検出待ち状態のときに点滅します。
STATUS	パケットを受信したときに点灯します。

無線 LAN インタフェース仕様

•規格	IEEE802.11b/g 準拠
•通信速度	自動切替
IEEE802.11b	11/5.5/2/1Mbps
IEEE802.11g	54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1Mbps
•通信距離	通信距離は、使用環境により変動します。
•通信チャンネル	
Infrastructure	1～14
Ad Hoc	1～13 (初期値 11)
•SSID	任意の英数文字列を最大 32 文字設定 (初期値「default」)
•認証方式	「Open System」、「Shared Key」、「WPA」、「WPA2」、「802.1x」 (初期値「Open System」)
•WEP	「使用する」、「使用しない」 (初期値「使用しない」)
•WEP キー	
キーサイズ	「64bit」、「128bit」 (初期値「64bit」)
キーインデックス	1～4 キーサイズ「64bit」 16 進入力の場合、10 桁設定 ASCII 入力の場合、5 桁設定 キーサイズ「128bit」 16 進入力の場合、26 桁設定 ASCII 入力の場合、13 桁設定 (初期値 1)
•802.1x 認証	「ENABLE」、「DISABLE」 (初期値「DISABLE」)
認証モード	「EAP-TLS」、「LEAP」、「PEAP」、「EAPFAST」、「TTLS」 (初期値「LEAP」)
ユーザ名	任意の英数文字列を最大 64 文字設定 (初期値無し)
•WPA 認証	
WPA モード	「PSK」、「802.1x」 (初期値「PSK」)
暗号化方式	「TKIP」、「AES」 (初期値「TKIP」)
WPA-PSK 共有キー	任意の英数文字列を 8～最大 63 文字設定 (初期値「sato printer」)
WPA 802.1x 認証モード	「EAP-TLS」 (初期値「EAP-TLS」)
WPA 802.1x ユーザ名	任意の英数文字列を最大 64 文字設定 (初期値無し)
•WPA2 認証	
WPA2 モード	「PSK」、「802.1x」 (初期値「PSK」)
暗号化方式	「TKIP」、「AES」 (初期値「TKIP」)
WPA2-PSK 共有キー	任意の英数文字列を 8～最大 63 文字設定 (初期値「sato printer」)
WPA2 802.1x 認証モード	「EAP-TLS」 (初期値「EAP-TLS」)
WPA2 802.1x ユーザ名	任意の英数文字列を最大 64 文字設定 (初期値無し)

- プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。
- プリンタドライバは、専用 SOCKET インタフェースを使用してデータ通信をおこないます。
- 無線LANインタフェース接続(オプションインタフェース)の場合、お客様のネットワーク環境に合わせた、通信条件設定が必要です。付属品のアクセサリ CD-ROM にあるレスプリ V シリーズ無線 LAN ユーティリティを使ってプリンタ本体のIPアドレスを設定してください。ユーティリティの使用方法は、24 ページ以降をご覧ください。
- レスプリ V シリーズ無線 LAN ユーティリティを使うと、コンピュータからプリンタのIPアドレスの設定や設定内容の表示・印刷確認ができます。
- プリンタの無線 LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ(DSW-3)(13 ページ)を操作することで、プリンタに登録されている設定内容をラベルに印字することができます。

操作 プリンタに登録されている、IPアドレスなどの設定内容をプリンタから印字させるには、プリンタの電源を OFF にして、プリンタの無線 LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ(DSW-3)を ON にしてから電源を入れてください。設定されている内容(IPアドレスなど)が印字されます。
注意:印字後は、プリンタの電源を OFF して、必ず無線 LAN インタフェースボードにあるディップスイッチ(DSW-3)を OFF にしてください。

注意 802.1x 認証で証明書とパスワードが必要なものは、WEB ブラウザで設定してください(36 ページ)。
・Atheros SuperG、XR 機能には対応していません。

3. LAN インタフェース設定

はじめに

IP アドレスなどのネットワーク設定は、レスプリ V シリーズプリンタ設定ツール（ネットワーク設定ツール）を使用して設定します。

①プリンタ本体を確認してください

プリンタに LAN ケーブルを接続し、本プリンタの電源を ON にしてください。
プリンタの LAN インタフェースの LINK LED が点灯しているか確認してください。

②プリンタ設定ツールを起動します

1. 「SATO アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
2. 「メインメニュー」画面が表示されます。

注意 自動起動しない場合は、アクセサリ CD-ROM の「AcclInstall.exe」をダブルクリックしてください。

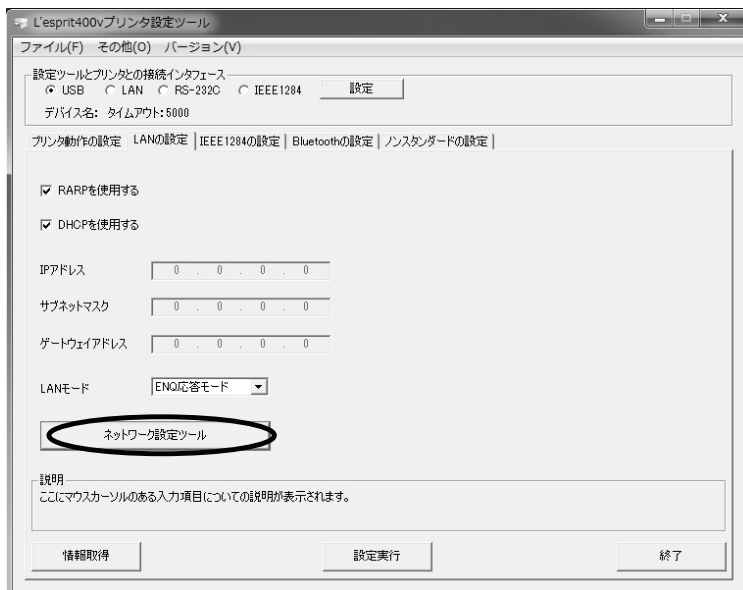
3. 「メインメニュー」画面より、「レスプリ プリンタ」をダブルクリックします。
4. 「レスプリ プリンタ」画面より、「ユーティリティ」をクリックします。
5. 「ユーティリティ」画面より、「レスプリ V シリーズプリンタ設定ツール（ネットワーク設定ツール）」を選び、「起動」をクリックします。
6. 「プリンタ設定ツール」が起動します。
7. プリンタを選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



8. 「LAN の設定」 タブを開きます。

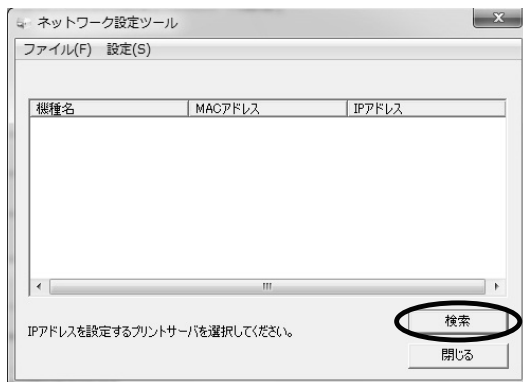


9. 「ネットワーク設定ツール」 ボタンをクリックします。



③ プリンタにIPアドレスを設定します 設定をおこなうプリンタを検索します。

1. 「検索」 ボタンをクリックします。



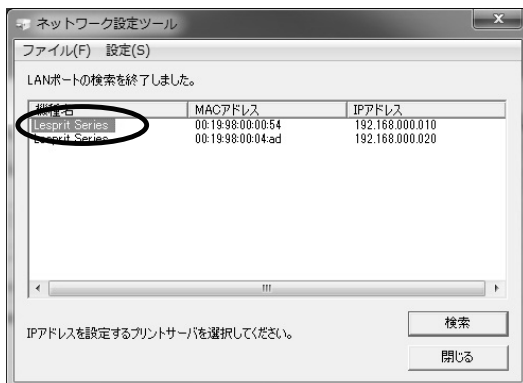
2. 検索されたプリンタの一覧が表示されます。



注意 検索されない場合は、再度「検索」ボタンをクリックしてください。

- プリンタの電源を確認してください。
- LAN インタフェースの LINK LED が点灯していることを確認してください。
- ご使用のコンピュータとプリンタがネットワーク環境に接続されているか確認してください。
- コンピュータとプリンタを LAN クロスケーブルで直接つなぐか、ハブのカスケードを外して、ローカルの LAN 環境にしてください。
- ご使用のコンピュータが Windows XP SP2 以降、Server 2003 SP1 以降、Vista、Server 2008、7 の場合、Windows ファイアウォールを無効にしてください。

3. 設定するプリンタをクリックしてください。

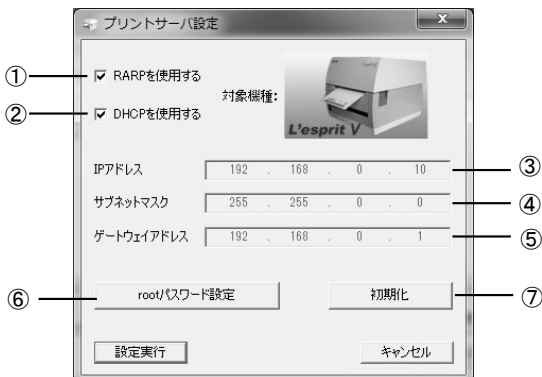


注意 画面は LAN インタフェースプリンタを検索した場合です。
LAN インタフェースプリンタを検索した場合、機種名表示が「Lesprit Series」になります。

4. 「設定(S)」メニューから「LAN の設定(S)」をクリックします。

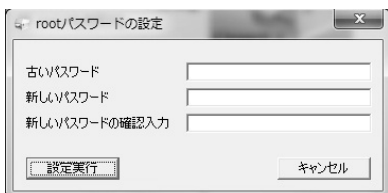


5. LAN の設定をします。



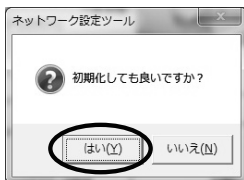
注意 LAN 設定の初期値は、
・RARP、DHCP は「有効」
・IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは「0. 0. 0. 0」
・root パスワードは「無し」
です。

- ① 「RARP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、MAC アドレスから IP アドレスを認識します。
MAC アドレスから IP アドレスを認識するため、IP アドレスの設定はできません。
IP アドレスを設定する場合、「RARP を使用する」のチェックを外してください。
- ② 「DHCP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、DHCP サーバから割り当てられる IP アドレスを有効とします。
DHCP サーバから割り当てられる IP アドレスを有効とするため、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定はできません。
IP アドレスなどを設定する場合、「DHCP を使用する」のチェックを外してください。
- ③ 「IP アドレス」の指定ができます。
- ④ 「サブネットマスク」の指定ができます。
- ⑤ 「ゲートウェイアドレス」の指定ができます。
- ⑥ 「root パスワード設定」の入力になります。

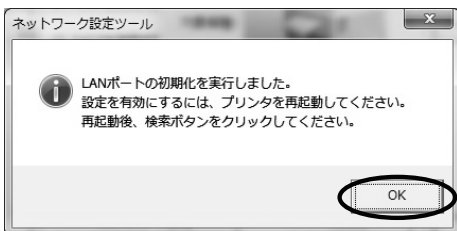


任意の英数字列を最大 16 文字設定できます（初期値は無しです）。
パスワードを設定するためには、「古いパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認入力」のすべての入力が必要となります。

- ⑦「初期化」をクリックすると、LAN 設定を初期値に設定します。

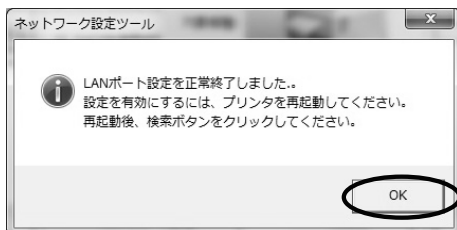
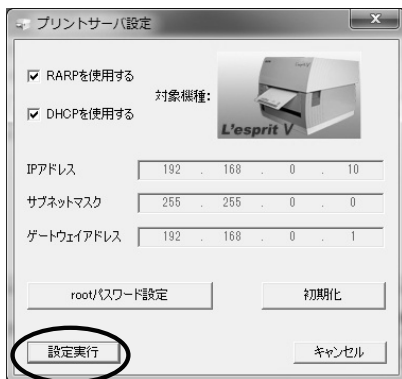


「はい (Y)」ボタンをクリックすると、LAN 設定を初期化します。



LAN 設定の初期化後、「OK」ボタンをクリックし、プリンタを再起動してください。

- ⑧IP アドレスなどの LAN 設定を入力し、「設定実行」ボタンをクリックすると、LAN 設定を登録します。

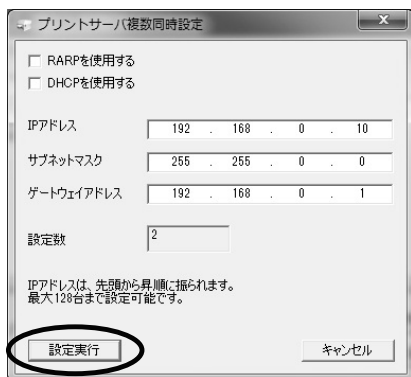


LAN 設定の登録を完了すると、「LAN ポートの設定を正常終了しました。設定を有効にするには、プリンタを再起動してください。」のメッセージを表示します。「OK」ボタンをクリックし、プリンタを再起動してください。

6. LAN 設定を複数同時に設定します。
同時に設定したいプリンタを選んだ後、「設定 (S)」メニューから「LAN の複数同時設定 (D)」をクリックします。



検索した LAN インタフェースすべての LAN 設定をおこないます。
IP アドレスは、入力した IP アドレスから昇順で割り振られます。
「設定実行」ボタンをクリックし、複数同時に LAN 設定をおこないます。



ヒント

2 台のプリンタに LAN ポート複数同時設定をおこなう場合、IP アドレスに「192. 168. 0. 10」を設定すると、下記の設定になります。

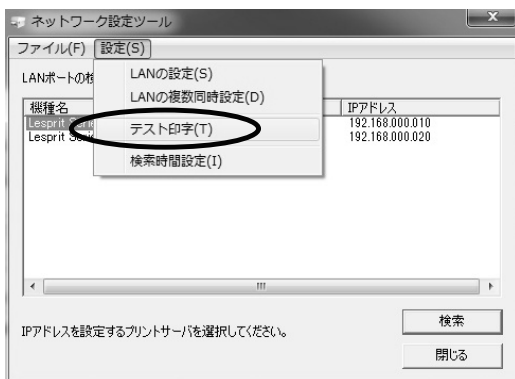
- 1 台目 「192. 168. 0. 10」
- 2 台目 「192. 168. 0. 11」

IP アドレス以外の設定は、全て同じ設定になります。

LAN 設定の登録完了後、プリンタを再起動してください。

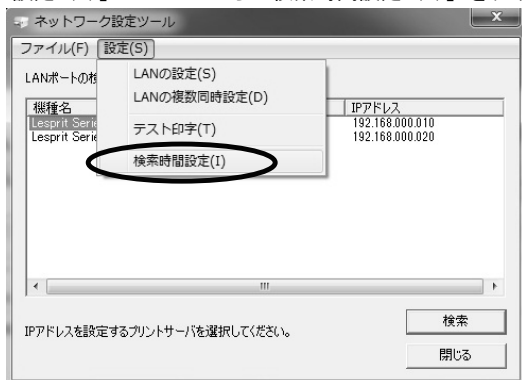
【注意】 無線 LAN インタフェースへの複数同時設定をおこなうことはできません。

7. LAN 設定のテスト印字をします。
「設定 (S)」メニューから「テスト印字 (T)」をクリックします。

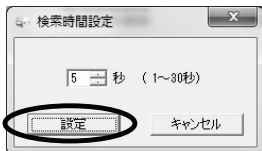


プリンタインターフェース設定のテスト印字をおこないます。
LAN インターフェースの MAC アドレス、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DHCP、RARP の各設定内容を印字します。

8. プリンタの検索時間を設定します。
「設定 (S)」メニューから「検索時間設定 (I)」をクリックします。



プリンタの検索時間を入力し、「設定」ボタンをクリックします。



4. 無線 LAN インタフェース設定

はじめに

IP アドレスなどのネットワーク設定や無線 LAN 設定は、レスプリ V シリーズ無線 LAN ユーティリティを使用して設定します。

① プリンタ本体を確認してください

無線 LAN インタフェースボードに有線 LAN を接続した状態で、無線 LAN の設定をおこないます。

プリンタに LAN ケーブルを接続し、本プリンタの電源を ON にしてください。

無線 LAN インタフェースボードのコネクタ内蔵 LED の STATUS LED が点灯しているか確認してください。

② ネットワークユーティリティを起動します

1. 「SATO アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
2. 「メインメニュー」画面が表示されます。

注意 自動起動しない場合は、CD-ROM の「Acclinstall.exe」をダブルクリックしてください。

3. 「メインメニュー」画面より、「レスプリ プリンタ」をダブルクリックします。
4. 「レスプリ プリンタ」画面より、「ユーティリティ」をクリックします。
5. 「ユーティリティ」画面より、「レスプリ V シリーズ無線 LAN ユーティリティ」を選択して「起動」ボタンをクリックします。
6. 「AdminManager」が起動し、検索されたプリンタの一覧が表示されます。



注意 検索されない場合、下記を実行してください。

- ・「ファイル (F)」メニューから「検索 (S)」をクリックしてください。
- ・プリンタの電源を確認してください。
- ・無線 LAN インタフェースボードのコネクタ内蔵 LED の STATUS LED が点灯していることを確認してください。
- ・ご使用のコンピュータとプリンタがネットワーク環境に接続されているか確認してください。
- ・コンピュータとプリンタを LAN クロスケーブルで直接つなぐか、ハブのカスケードを外して、ローカルの LAN 環境にしてください。
- ・ご使用のコンピュータの OS が Windows XP SP2 以降、Server 2003 SP1 以降、Vista、7、Server 2008 の場合、Windows ファイアウォールを無効にしてください。

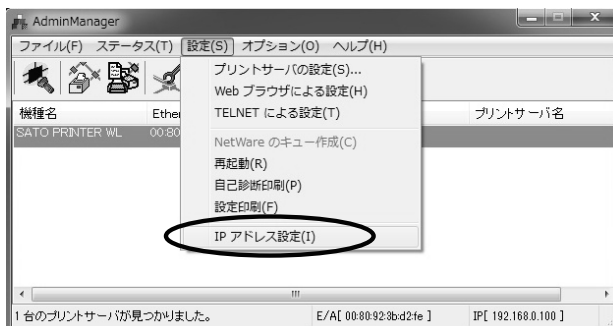
③ プリンタにIPアドレスを設定します 設定をおこなうプリンタを検索します。

1. 設定するプリンタをクリックしてください。

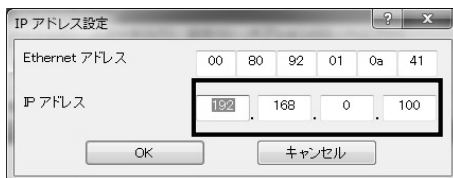


注意 無線LANインタフェースボードをセットしてある場合、機種名表示が「SATO PRINTER WL」になります。

2. プリンタの IP アドレスを設定します。
「設定 (S)」メニューから「IP アドレス設定 (I)」をクリックします。



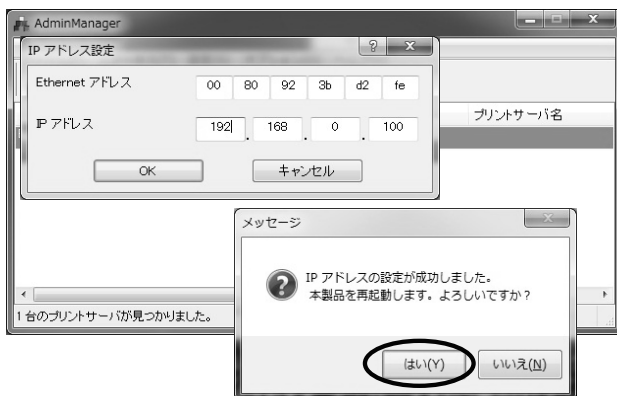
3. IP アドレスを入力します。



4. IP アドレスを入力後、「OK」ボタンをクリックするとプリンタに IP アドレスを登録します。



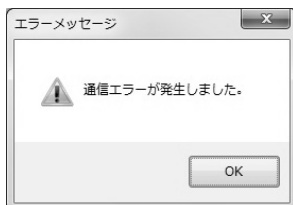
5. IP アドレスの登録を完了すると「IP アドレスの設定が成功しました。本製品を再起動します。よろしいですか?」のメッセージを表示します。「はい (Y)」ボタンをクリックしてください。



ヒント

IPアドレスを設定する際に下記のエラーメッセージが表示された場合の対処方法

- ※ IPアドレスを設定するコンピュータとプリンタのIPアドレスが同一セグメントに設定されていない場合、下記のエラーメッセージが表示されます。



操作

- ※ 無線 LAN インタフェースボードの初期化をおこないます。
- ①プリンタの無線 LAN インタフェースボードにある DSW2 を「ON」にし、プリンタの電源を入れます。
(約 10 秒間電源を入れた状態にします)
 - ②プリンタの電源を切ります。
 - ③プリンタの無線 LAN インタフェースボードにある DSW2 を「OFF」にし、プリンタの電源を入れます。
 - ④レスプリ V シリーズ無線 LAN ユーティリティの「検索」からやり直して、IP アドレスを設定してください。

- ※ コンピュータに設定されている IP アドレスを確認し、再度 IP アドレスを設定してください。

6. プリンタを再起動し、再度プリンタの検索（「検索(S)」）をおこなってください。設定された IP アドレスのプリンタが表示されたら、プリンタの IP アドレス設定は完了です。



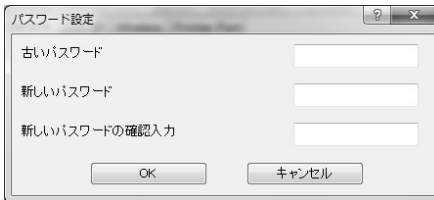
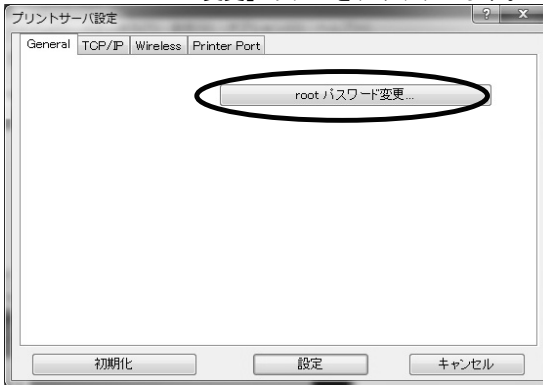
サブネットマスクなどの設定をおこなう場合、「その他の設定 (28 ページ)」をご覧ください。

④その他の設定

1. 「設定(S)」 「プリントサーバの設定(S)」 をクリックします。



2. root パスワードの設定
「root パスワード変更」 ボタンをクリックします。



①パスワードの設定

任意の英数文字列を最大7文字設定できます(初期値は無しです)。
パスワードを設定するためには、「古いパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワードの確認入力」のすべての入力が必要となります。

3. TCP/IP の設定

「TCP/IP」タブを選びます。



注意 プリントサーバの初期状態は、
・IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは「0. 0. 0. 0」
・DHCP/BOOTP、RARP は「有効」、FTP/LPD バナーは「無効」になっています。

- ① 「DHCP/BOOTP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、DHCP サーバから割り当てられる IP アドレスを有効とします。
チェックが外れている（機能が無効）ことを確認し、設定してください。
- ② 「RARP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、MAC アドレスから IP アドレスを認識します。
チェックが外れている（機能が無効）ことを確認し、設定してください。
- ③ 「IP アドレス」の指定ができます。
- ④ 「サブネットマスク」の指定ができます。
- ⑤ 「デフォルトゲートウェイ」の指定ができます。
- ⑥ 「FTP/LPD バナーを使用する」のチェックボックスにチェックすると、バナーページを印刷することができます。
チェックが外れている（機能が無効）ことを確認し、設定してください。

4. 無線設定

「Wireless」タブを選びます。

無線 LAN の通信モードは、無線 LAN インタフェースボードのディップスイッチ (DSW) (13 ページ) を OFF に設定すると「Ad Hoc」モード、ディップスイッチ (DSW) を ON に設定すると「Infrastructure」モードになります。



「Ad Hoc」モード
(ディップスイッチ(DSW) : OFF 設定)



「Infrastructure」モード
(ディップスイッチ(DSW) : ON 設定)

①SSID の設定

任意の英数字列を最大 32 文字設定できます (初期値は「default」です)。

②通信チャンネルの設定

1～13 のチャンネルを指定します (初期値は「11」です)。

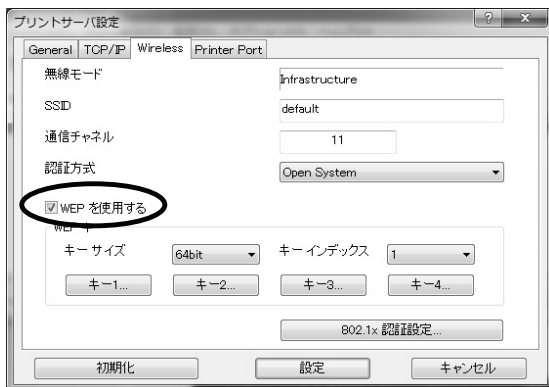
注意 「Infrastructure」モードの場合は、通信チャンネルの指定は可能ですが、設定は無効となります。

③認証方式の設定

認証方式を設定します (初期値は「Open System」です)。

注意 設定した認証方式により設定する項目が異なります。

- ④ 「WEP を使用する」のチェックボックスをチェックすると、WEP キーの入力が可能になります。



- ⑤ キーサイズの設定

WEP キーのキーサイズを指定します（初期値は「64bit」です）。

- ⑥ キーインデックスの設定

1～4の WEP キーインデックスを指定します（初期値は「1」です）。

- ⑦ WEP キーの設定

キーサイズを「64bit」に指定した場合、
ASCII コード入力では、5桁入力します。
HEX（16進コード入力）では、10桁入力します。

「64bit」設定



ASCII コード入力



HEX（16進コード）入力



WEP キーを設定している場合、「変更」ボタンをクリックすると、ASCII コード、HEX（16進コード）の入力になります。

キーサイズを「128bit」に指定した場合、
ASCII 入力では、13 桁入力します。
HEX（16 進入力）では、26 桁入力します。

「128bit」設定

The screenshot shows the 'WEP キー設定' dialog box. The 'ASCII' radio button is selected. A text input field is highlighted with a thick black border. Below it, the 'HEX' radio button is unselected, and there are 13 empty input boxes. 'OK' and 'キャンセル' buttons are at the bottom.

ASCII コード入力

The screenshot shows the 'WEP キー設定' dialog box. The 'HEX' radio button is selected. The 'ASCII' radio button is unselected. A text input field is highlighted with a thick black border. Below it, there are 26 empty input boxes. 'OK' and 'キャンセル' buttons are at the bottom.

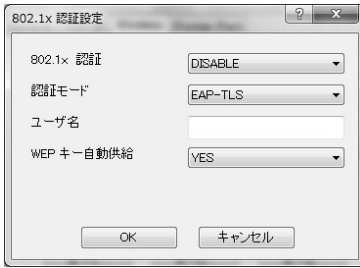
HEX（16 進コード）入力

The screenshot shows the 'WEP キー設定' dialog box. Both 'ASCII' and 'HEX' radio buttons are unselected. The 'ASCII' and 'HEX' input fields are empty. The '変更' button is circled with a thick black border. 'キャンセル' button is also visible. 'OK' and 'キャンセル' buttons are at the bottom.

WEP キーを設定している場合、「変更」をクリックすると、ASCII コード、HEX（16 進コード）の入力になります。

⑧ 「802.1x 認証設定」ボタンをクリックすると、802.1x 認証設定の入力が可能になります。

The screenshot shows the 'プリンターサーバ設定' dialog box. The 'Wireless' tab is selected. Fields for '無線モード' (Infrastructure), 'SSID' (default), '通信チャンネル' (11), and '認証方式' (Open System) are visible. The 'WEP を使用する' checkbox is unchecked. The '802.1x 認証設定...' button is circled with a thick black border. '初期化', '設定', and 'キャンセル' buttons are at the bottom.



⑨802.1x 認証方式の設定

802.1x 認証方式を設定します（初期値は「DISABLE」です）。

⑩認証モードの設定

認証モードを設定します（初期値は「EAP-TLS」です）。

⑪802.1x 認証ユーザの設定

任意の英数文字列を最大 64 文字設定できます（初期値は無しです）。

⑫WEP キー自動供給の設定

WEP キーの自動供給を設定します（初期値は「YES」です）。

注意 「WEP キーを使用する」のチェックボックスをチェックした場合に設定する項目が表示され、設定が可能となります。

⑬パスワードの設定

任意の英数文字列を最大 32 文字設定できます（初期値は無しです）。

注意 ⑩認証モードの設定で「LEAP」を指定した場合のみ、パスワードの設定が可能になります。証明書が必要な認証モードは web ブラウザで設定してください（36 ページ）。

⑭認証方式の設定

認証方式を設定します。

「WPA」を設定すると、WPA 設定の入力が可能になります。

⑮WPA モードの設定

WPA 認証のモードを設定します（初期値は「PSK」です）。



PSK を選択した場合



802.1x を選択した場合

⑯暗号化方式の設定

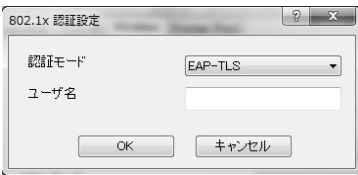
WPA 認証の暗号化方式を設定します（初期値は「TKIP」です）。

⑰共有キーの設定

任意の英数文字列を 8～最大 63 文字設定できます（初期値は「sato printer」です）。

注意 「PSK」を指定した場合、項目が表示され、設定が可能になります。

⑱「802.1x 認証設定」ボタンをクリックすると、WPA-802.1x 認証設定の入力が可能になります。



⑲認証モードの設定

WPA-802.1x 認証のモードを設定します（「EAP-TLS」固定です）。

注意 「EAP-TLS」の証明書のインポート方法は、WEB 設定 (36 ページ) をご覧ください。

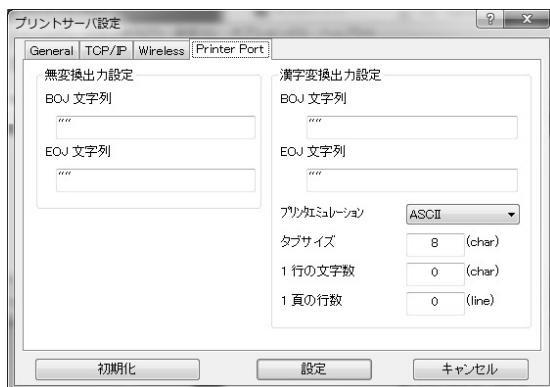
⑳WPA-802.1x 認証ユーザ名の設定

任意の英数文字列を最大 64 文字設定できます（初期値は無しです）。

接続可能な組合せ

認証方式		暗号化方式	設定項目
OPEN System	—	なし	なし
	—	WEP	WEP キー
	LEAP	動的 WEP	ユーザ名、パスワード
	EAP-TLS	動的 WEP	ユーザ名、ルート証明書 クライアント証明書、証明書パスワード
Shared Key		WEP	WEP キー
WPA	PSK	TKIP/AES	事前共有キー
	EAP-TLS		ユーザ名、ルート証明書 クライアント証明書、証明書パスワード

5. Printer Port の設定
「Printer Port」タブを選びます。



①無変換出力設定

印字の開始に付加する無変換文字列「BOJ 文字列」、印字の終了に付加する無変換文字列「EOJ 文字列」を設定できます。

注意 通常は、設定しないでください。

②漢字変換出力設定

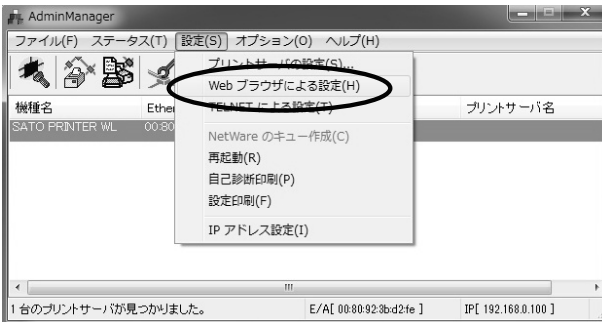
印字の開始に付加する漢字変換文字列「BOJ 文字列」、印字の終了に付加する漢字変換文字列「EOJ 文字列」を設定できます。

また、漢字変換出力時の「プリンタエミュレーション」、「タブサイズ」、「1 行の文字数」、「1 頁の行数」を設定できます。

注意 通常は、設定しないでください。

6. WEB 設定

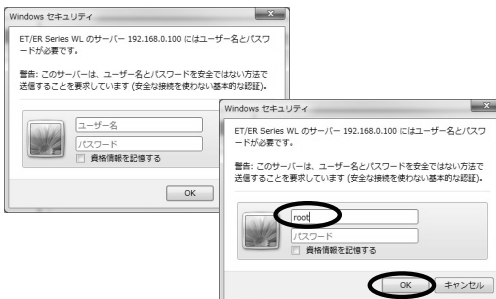
無線 LAN インタフェースボードの設定を WEB ブラウザにて設定をおこなうことができます。「設定 (S)」メニューから「Web ブラウザによる設定 (H)」をクリックします。



無線 LAN インタフェースボードの WEB 画面を表示します。
「プリントサーバ機能」をクリックします。



ネットワークパスワードの入力画面を表示しますので、ユーザー名、パスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。
初期値は、ユーザー名「root」、パスワードは無しです。



無線 LAN インタフェースボードの設定画面を表示します。

- ① TCP/IP の設定
[TCP/IP] をクリックします。
TCP/IP を設定します。



- ②無線 LAN の設定
[Wireless] をクリックします。
無線 LAN を設定します。



接続可能な組合せ

•Infrastructure モード

認証方式		暗号化方式	設定項目
OPEN System	—	なし	WEP 使用設定
	—	WEP	WEP 使用設定、有効なキー、キー長、キー1、キー2、キー3、キー4
	EAP-TLS	動的 WEP	WEP 使用設定、キー長、802.1x 認証、認証モード、ユーザ名、パスワード、WEP キーは提供される
Shared Key		WEP	WEP 使用設定、有効なキー、キー長、キー1、キー2、キー3、キー4
WPA/WPA2	PSK	TKIP/AES	WEP 使用設定、WPA モード、データ暗号化、Pre-Shared Key
	EAP-LEAP		WEP 使用設定、WPA モード、データ暗号化、認証モード、ユーザ名、パスワード
	EAP-TLS		WEP 使用設定、WPA モード、データ暗号化、認証モード、ユーザ名、パスワード、サーバ認証の検証
	EAP-PEAP		WEP 使用設定、WPA モード、データ暗号化、認証モード、ユーザ名、パスワード、サーバ認証の検証
	EAP-TTLS		WEP 使用設定、WPA モード、データ暗号化、認証モード、ユーザ名、パスワード、内部認証方式 (PAP、CHAP、MSCHAP、MSCHAPv2)、サーバ認証の検証
	EAP-FAST		WEP 使用設定、WPA モード、データ暗号化、認証モード、ユーザ名、パスワード、PAC ファイル自動配布
802.1x	LEAP EAP-TLS EAP-TTLS EAP-PEAP EAP-FAST	動的 WEP	WEP 使用設定、キー長、802.1x 認証、認証モード、ユーザ名、パスワード、WEP キーは提供される

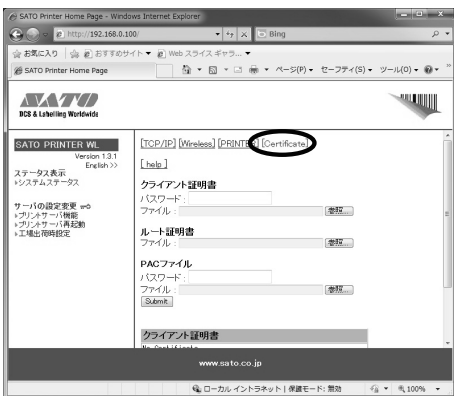
•Ad Hoc モード

認証方式		暗号化方式	設定項目
OPEN System	—	なし	WEP 使用設定
	—	WEP	WEP 使用設定、有効なキー、キー長、キー1、キー2、キー3、キー4
Shared Key		WEP	WEP 使用設定、有効なキー、キー長、キー1、キー2、キー3、キー4

- ③Printer Portの設定
[PRINTER]をクリックします。
Printer Portを設定します。



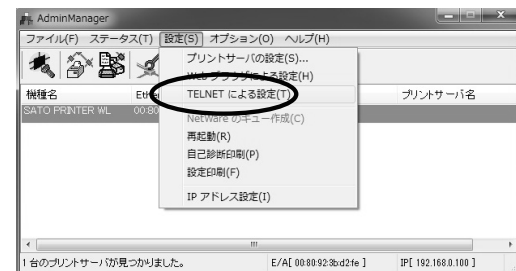
- ④証明書の設定
[Certificate]をクリックします。
証明書を設定します。



- 注意** 証明書のインポートは、WEB 設定画面でのみ設定することができます。
- ・クライアント証明書の形式は、拡張子「p12」か「pfx」のファイルになります。
 - ・ルート証明書の形式は、拡張子「der」か「cer」のファイルになります。

7. TELNET 設定

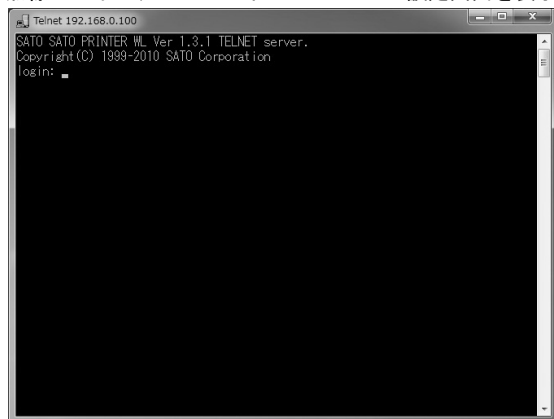
無線 LAN インタフェースボードの設定を TELNET にて設定をおこなうことができます。「TELNET による設定(T)」をクリックします。



ヒント

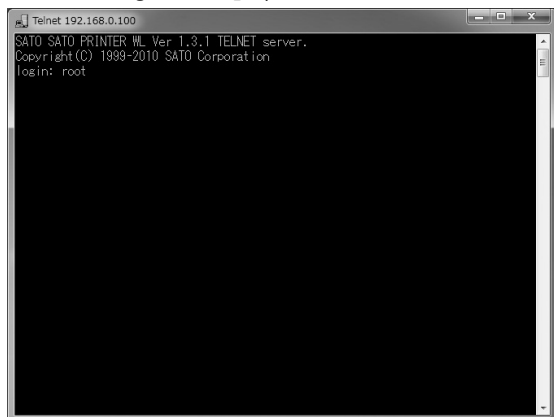
Windows Vista/Server 2008/7 では、標準で TELNET がインストールされていません。TELNET にて設定をおこなう場合、「Windows の機能」の「Telnet クライアント」をインストールしてからおこなってください。

無線 LAN インタフェースボードの TELNET 設定画面を表示します。

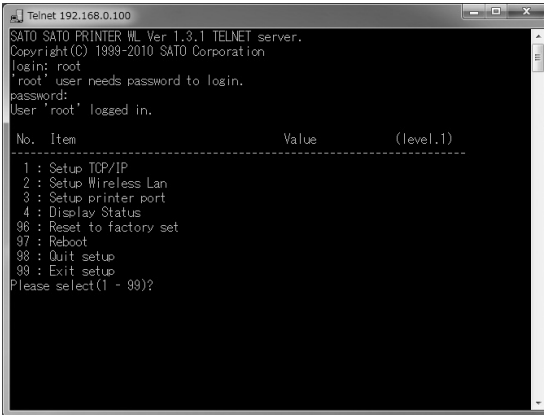


ネットワークパスワードの入力画面を表示しますので、login、password を入力して「Enter」キーを押します。

初期値は、login 「root」、password は無し、です。



無線 LAN インタフェースボードの設定画面を表示します。

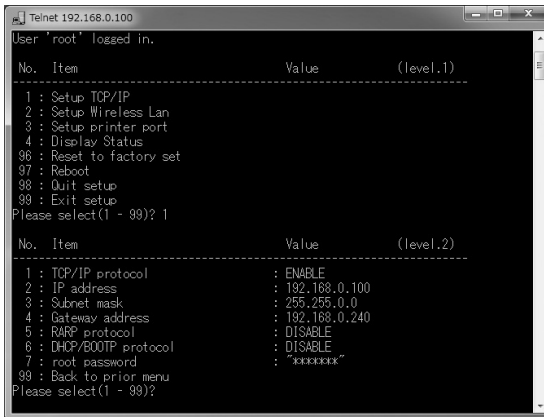


```
TELNET 192.168.0.100
SATO SATO PRINTER WL Ver 1.3.1 TELNET server.
Copyright (C) 1999-2010 SATO Corporation
login: root
root user needs password to login.
password:
User root logged in.

No.  Item                               Value                               (level.1)
-----
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup Wireless Lan
 3 : Setup printer port
 4 : Display Status
96 : Reset to factory set
97 : Reboot
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1 - 99)?
```

①TCP/IP の設定

「1」(Setup TCP/IP) を入力し、「Enter」キーを押します。



```
TELNET 192.168.0.100
User root logged in.

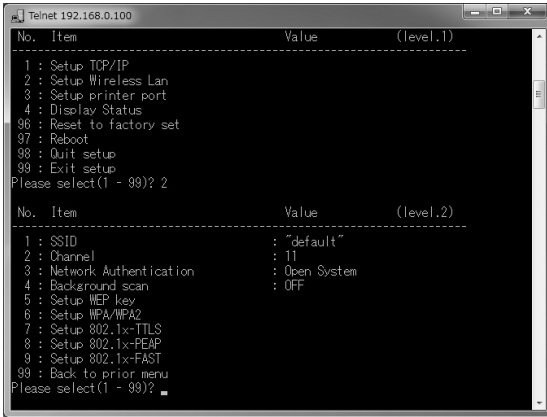
No.  Item                               Value                               (level.1)
-----
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup Wireless Lan
 3 : Setup printer port
 4 : Display Status
96 : Reset to factory set
97 : Reboot
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1 - 99)? 1

No.  Item                               Value                               (level.2)
-----
 1 : TCP/IP protocol                     : ENABLE
 2 : IP address                           : 192.168.0.100
 3 : Subnet mask                           : 255.255.0.0
 4 : Gateway address                       : 192.168.0.240
 5 : RARP protocol                         : DISABLE
 6 : DHCP/BOOTP protocol                  : DISABLE
 7 : root password                        : "*****"
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

TCP/IP 設定画面では、「TCP/IP プロトコル」、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」、「RARP プロトコル」、「DHCP/BOOTP プロトコル」、「root パスワード」の設定をおこなうことができます。

②無線 LAN の設定

「2」(Setup Wireless LAN) を入力し、「Enter」キーを押します。



```
Teletnet 192.168.0.100
-----
No.  Item                               Value                               (level.1)
-----
1 : Setup TCP/IP
2 : Setup Wireless Lan
3 : Setup printer port
4 : Display Status
96 : Reset to factory set
97 : Reboot
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1 - 99)? 2

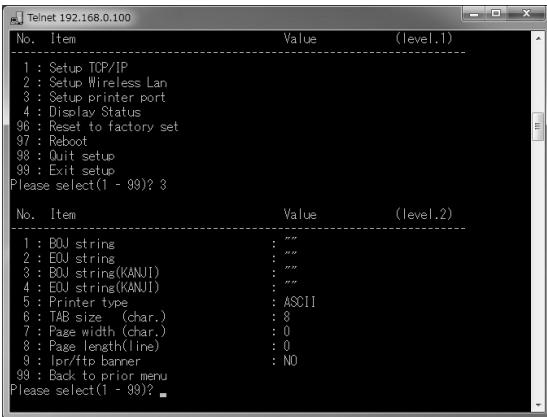
-----
No.  Item                               Value                               (level.2)
-----
1 : SSID                               : "default"
2 : Channel                             : 11
3 : Network Authentication              : Open System
4 : Background scan                    : OFF
5 : Setup WEP key
6 : Setup WPA/WPA2
7 : Setup 802.1x-TTLS
8 : Setup 802.1x-PEAP
9 : Setup 802.1x-FAST
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

無線 LAN 設定画面では、「SSID」、「チャンネル」、「ネットワーク認証」、「WEP キー」、「WPA/ WPA2」の設定をおこなうことができます。

注意証明書のインポートは、WEB 設定画面でのみ設定することができます。

③Printer Port の設定

「3」(Setup Printer Port) を入力し、「Enter」キーを押します。

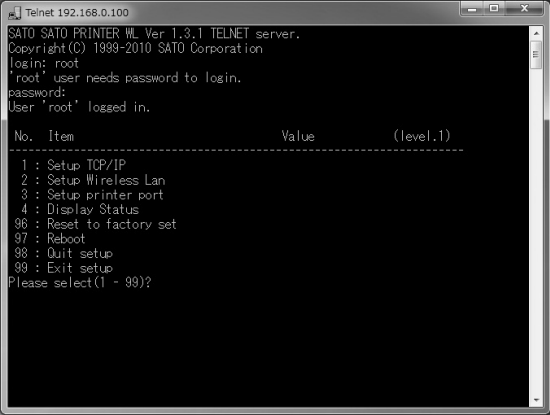


```
Teletnet 192.168.0.100
-----
No.  Item                               Value                               (level.1)
-----
1 : Setup TCP/IP
2 : Setup Wireless Lan
3 : Setup printer port
4 : Display Status
96 : Reset to factory set
97 : Reboot
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1 - 99)? 3

-----
No.  Item                               Value                               (level.2)
-----
1 : EOL string                          : ""
2 : EOL string                          : ""
3 : B0J string(KANJI)                  : ""
4 : EOL string(KANJI)                  : ""
5 : Printer type                        : ASCII
6 : TAB size (char.)                   : 8
7 : Page width (char.)                  : 0
8 : Page length(line)                   : 0
9 : lpr/ftp banner                       : NO
99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

Printer Port 設定画面では、「B0J 文字列」、「E0J 文字列」、「B0J 文字列 (漢字)」、「E0J 文字列 (漢字)」、「プリンタタイプ」、「タブサイズ」、「1 行の文字数」、「1 ページの行数」、「lpr/ftp バナー」の設定をおこなうことができます。

④その他の操作



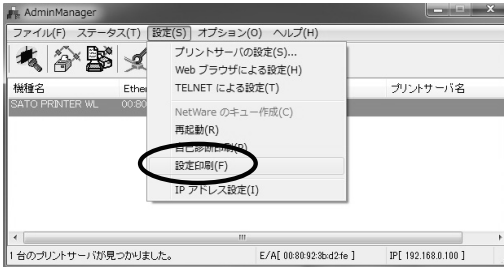
```
Telet 192.168.0.100
SATO SATO PRINTER WL Ver 1.3.1 TELNET server.
Copyright (C) 1999-2010 SATO Corporation
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

No.  Item                               Value          (level.1)
-----
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup Wireless Lan
 3 : Setup printer port
 4 : Display Status
96 : Reset to factory set
97 : Reboot
98 : Quit setup
99 : Exit setup
Please select(1 - 99)?
```

- ・「4」(Display Status)を入力し、「Enter」キーを押すと、現在の無線 LAN インタフェースボードの設定を表示します。
- ・「96」(Reset to factory set)を入力し、「Enter」キーを押すと、無線 LAN インタフェースボードの設定を初期値に戻します。
- ・「97」(Reboot)を入力し、「Enter」キーを押すと、無線 LAN インタフェースボードを再起動します。
- ・「98」(Quit setup)を入力し、「Enter」キーを押すと、設定した内容を登録せずに TELNET を終了します。
- ・「99」(Exit setup)を入力し、「Enter」キーを押すと、設定した内容を登録して TELNET を終了します。

⑤ プリンタから IP アドレスなどの設定情報を印字させるには

1. 「設定 (S)」メニューから「設定印刷 (F)」をクリックします。



2. 「はい (Y)」ボタンをクリックすると設定内容が印字されます。



無線 LAN インタフェースボードの設定印刷では、TCP/IP 設定、無線 LAN 設定、プリンタポート設定の各設定が印字されます。

5. プリンタドライバのインストール方法(USB)

※ USB 以外のプリンタドライバのインストールは 55 ページ以降をご覧ください。

注意 インストール作業を始める前に使用中のアプリケーションはすべて終了してください。

プリンタの電源をオフにし、USB ケーブルをコンピュータに接続します。

プリンタドライバのセットアップ、プロパティ設定、印刷設定をおこなう場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。

プリンタドライバを使用する場合は、双方向通信での利用をお勧めします。

複数台のプリンタをご使用になる場合は、個々のプリンタを識別するために台数分のプリンタドライバをインストールする必要があります。

※ Windows2000 の場合はアクセサリ CD-ROM のフォルダからドライバをインストールしてください。(¥¥Ver9.4.0.50_CDROM¥DRIVER¥32bit¥Win2000¥LespritV)

Windows 7 の場合

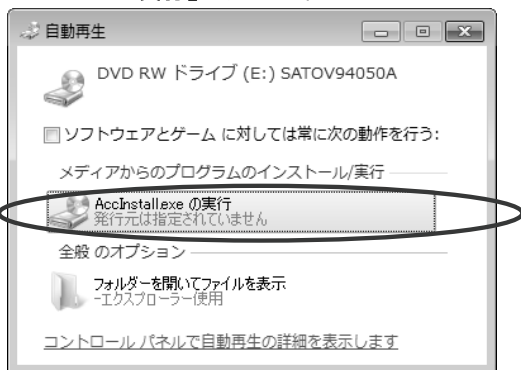
説明は Windows 7(32 ビット)の画面で説明しています。

注意 1 台目のプリンタドライバをインストール後、2 台目以降のプリンタを接続して電源を入れると、自動的にインストールされます。

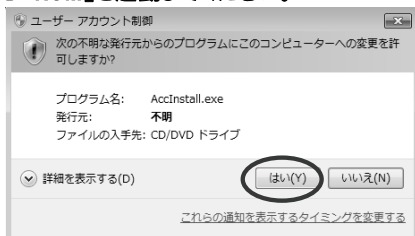
① プリンタの電源がオフになっていることを確認して、Windows を起動します。

② 起動したら「アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。

「AccInstall.exe の実行」を選びます。



③ ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「はい(Y)」をクリックして、「アクセサリ CD-ROM」を起動してください。



- ④ 「メインメニュー」画面より、「レスプリプリンタ」をダブルクリックします。



- ⑤ 「レスプリプリンタ」画面より、「プリンタドライバ」ボタンをクリックします。



- ⑥ 「プリンタドライバ」画面より、インストールするプリンタを選びます。

- ⑦ 「インストール」ボタンをクリックします。



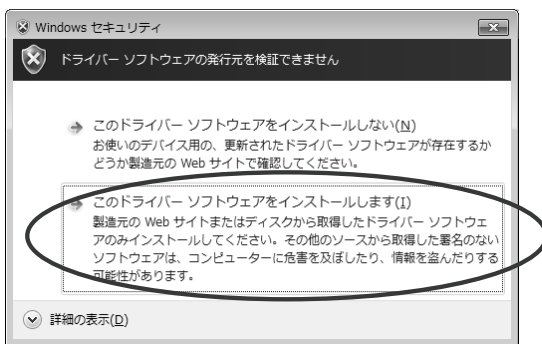
⑧ 使用するプリンタを選び、「次へ」ボタンをクリックします。



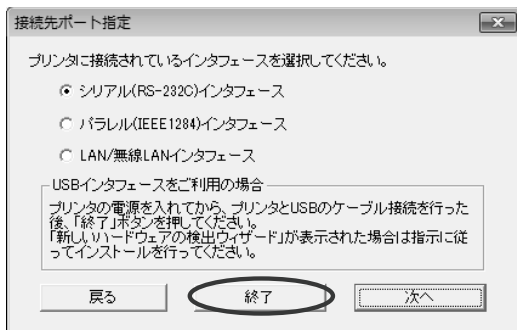
(1) 【プリンタの選択】
インストールするプリンタを選択します。

(2) 【プリンタの名称】
プリンタドライバの名称を入力できます。

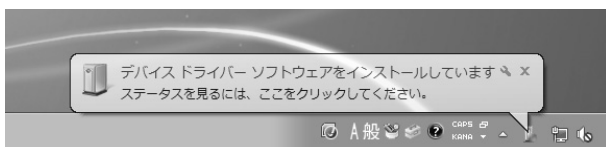
⑨ セキュリティの警告ダイアログが表示されます。
「このドライバーソフトウェアをインストールします(!)」を選びます。



- ⑩ 「接続ポート指定」画面が表示されます。
「終了」ボタンをクリックして、画面を閉じます。



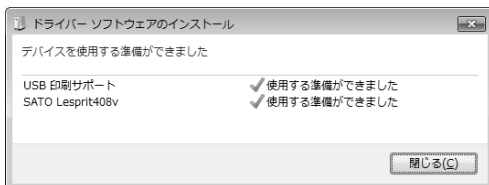
- ⑪ プリンタの電源を入れます。
「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」、のバルーンメッセージが表示されます。



バルーンメッセージが表示されている間にメッセージをクリックすると、インストールの状態が確認できます。



「デバイスを使用する準備ができました」が表示されます。
「閉じる(C)」ボタンをクリックします。
以上でプリンタドライバのインストールは完了です。



⑫ 「デバイスとプリンター」を開き、プリンタドライバがインストールされていることを確認してください。



Windows Vista/Server 2008 の場合

説明は Windows Vista の画面です。

注意 Windows Server 2008 でターミナルサービスが起動している場合は、ターミナルサービスをインストールモードにしてください。

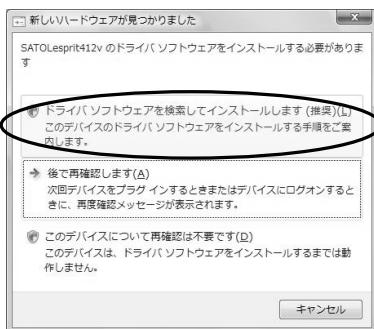
ただし、ターミナルサービス環境下でのプリンタドライバの使用は保証しておりませんので、ご注意ください。

1 台目のプリンタドライバをインストール後、2 台目以降のプリンタを接続して電源を入れると、自動的にインストールされます。

① プリンタの電源を入れます。

「新しいハードウェアが見つかりました」を表示します。

「ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)(L)」をクリックします。



② ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「続行(C)」ボタンをクリック

すると、「新しいハードウェアの検出 - SATOLesprit412v」が表示されます。

「次へ(N)」ボタンをクリックします。



ヒント

左記の画面は、レスプリ T412v/R412v プリンタを接続した場合の表示になります。

レスプリ T408v/R408v プリンタを接続した場合、「新しいハードウェアの検出 - SATOLesprit408v」が表示されます。

③ インストールするプリンタの情報ファイルを選択し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



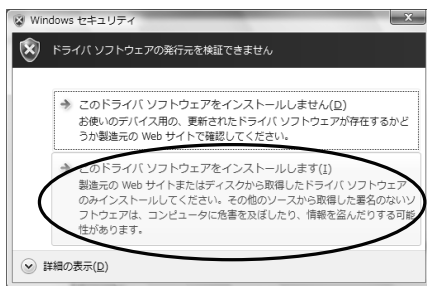
ヒント

プリンタ情報ファイルを選択する場合、CD-ROMドライブの

「¥driver¥32bit¥windows¥lesprtv¥lesprtv¥driver¥les400v.inf」を選択してください。

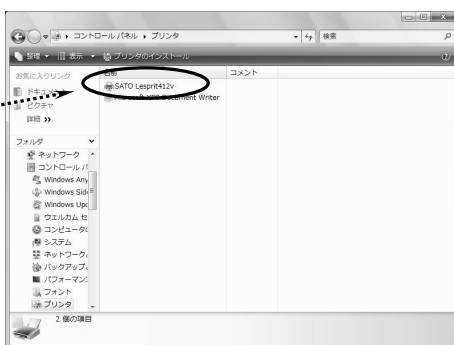
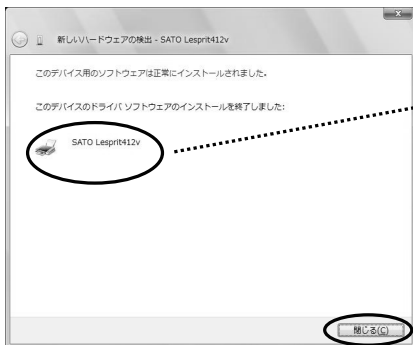
④ Windows セキュリティメッセージを表示します。

「このドライバソフトウェアをインストールします(!)」をクリックして、プリンタドライバをインストールしてください。



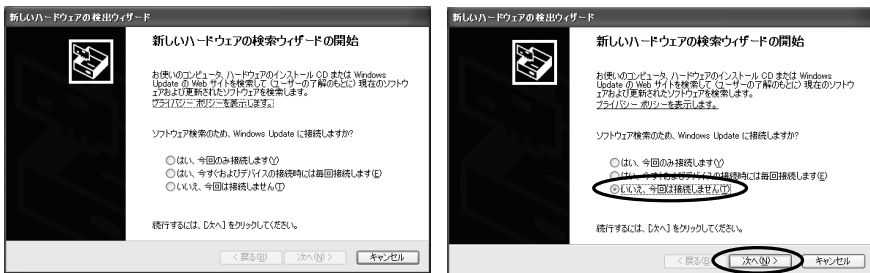
⑤ インストール終了後、「閉じる(C)」ボタンをクリックします。

「プリンタ」フォルダを開き、プリンタがインストールされていることを確認します。

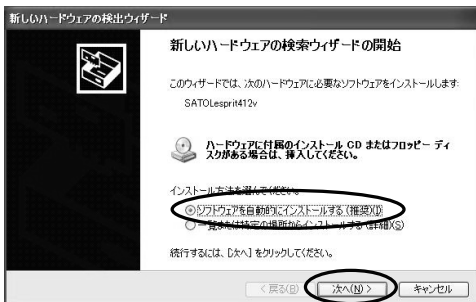


注意 Windows Server 2003 でターミナルサービスが起動している場合は、ターミナルサービスをインストールモードにしてください。
 ただし、ターミナルサービス環境下でのプリンタドライバの使用は保証しておりませんので、ご注意ください。

- ① プリンタの電源を入れます。
 「新しいハードウェアの検出ウィザード」を表示します。
 「いいえ、今回は接続しません(T)」を選び、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



- ② インストールする方法を選択します。
 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(I)」を選び、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



③ インストールするプリンタの情報ファイルを検索します。



④ インストールするプリンタの情報ファイルを選択し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



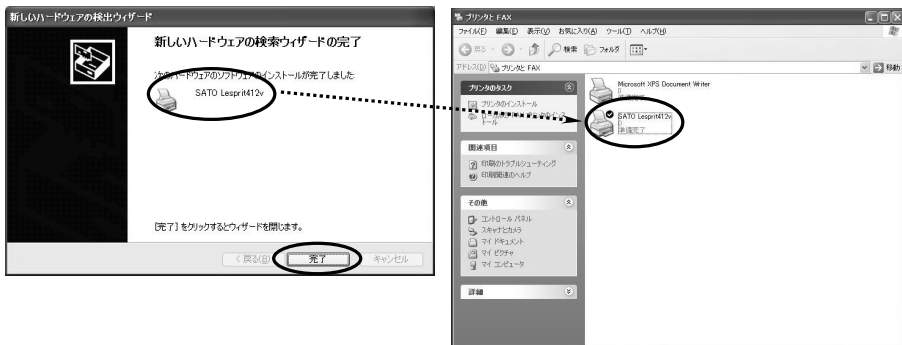
ヒント

Windows XP/Server 2003 のプリンタ
情報ファイルを選択する場合、CD-ROM
ドライブの
「¥driver¥32bit¥windows¥lesprity¥lesprity
¥driver¥les400v.inf」
を選択してください。

⑤ 「ハードウェアのインストール」が表示されます。
「続行(C)」ボタンをクリックします。



- ⑥ インストール完了後、「完了」ボタンをクリックします。
「プリンタ」フォルダを開き、プリンタがインストールされていることを確認します。



6. プリンタドライバのインストール方法(USB 以外)

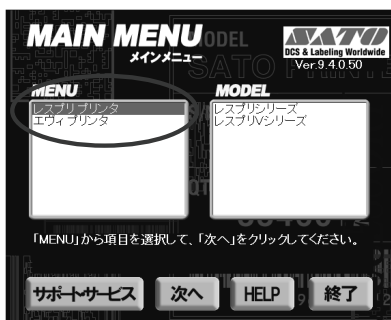
プリンタドライバをインストールする手順を説明します。
(Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7)

はじめに

注意 インストール作業を始める前に使用中のアプリケーションはすべて終了してください。
プリンタの電源をオフにし、インタフェースケーブルをコンピュータと接続します。
プリンタドライバのセットアップ、プロパティ設定、印刷設定をおこなう場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。
プリンタドライバを使用する場合は、双方向通信での利用をお勧めします。
Windows Server 2003/Windows Server 2008 でターミナルサービスが起動している場合は、ターミナルサービスをインストールモードにしてください。
ただし、ターミナルサービス環境下でのプリンタドライバの使用は保証しておりませんので、ご注意ください。

※ Windows2000 の場合はアクセサリ CD-ROM のフォルダからドライバをインストールしてください。(¥¥Ver9.4.0.50_CDROM¥DRIVER¥32bit¥Win2000¥LespritV)

- ① プリンタの電源がオフになっていることを確認して、Windows を起動します。
- ② 起動したら「アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
※ Windows Vista/Server 2008/7 の環境で「アクセサリ CD-ROM」を起動または自動再生すると、ユーザーアカウント制御メッセージが表示されますので、「許可(A)」をクリックして、「アクセサリ CD-ROM」を起動してください。
- ③ 「メインメニュー」画面より、「レスプリプリンタ」をダブルクリックします。



- ④ 「レスプリプリンタ」画面より、「プリンタドライバ」ボタンをクリックします。

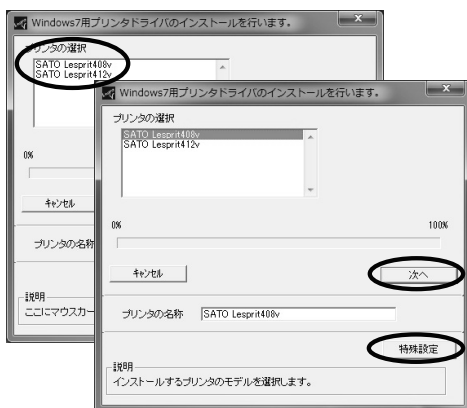


- ⑤ 「プリンタドライバ」画面より、インストールするプリンタを選びます。

- ⑥ 「インストール」ボタンをクリックします。



- ⑦ 使用するプリンタを選び、「次へ」ボタンをクリックします。



※ プリンタドライバをインストールすると同時にプリンタ設定ツールもインストールされます。

【プリンタの選択】

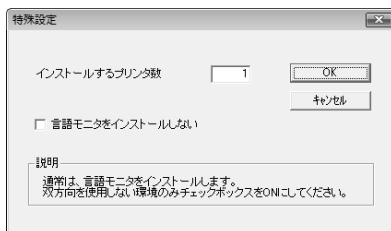
インストールするプリンタを選択します。

【プリンタの名称】

プリンタドライバの名称が入力できます。

インストールするプリンタを複数インストールするなど、特殊な設定をする場合は、「特殊設定」ボタンをクリックし、特殊設定画面で変更してください。

特殊設定画面



【特殊設定】

•インストールするプリンタ数

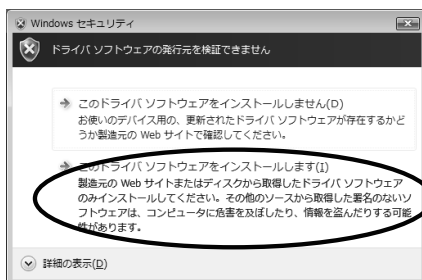
プリンタドライバを複数インストールする場合、インストールするプリンタ数を入力します。

•言語モニタをインストールしない

双方向サポートを使用しない場合、チェックボックスをチェックします。

※ Windows Vista 以降の環境でインストールする場合、下記の Windows セキュリティメッセージが表示されます。

「このドライバソフトウェアをインストールします(!)」をクリックして、プリンタドライバをインストールしてください。



⑧ ご使用のインタフェースに合わせて以下のページをご覧ください。

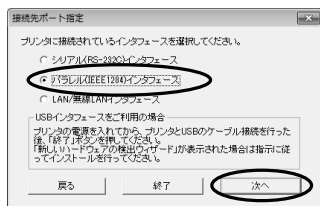
- パラレルポートインタフェース (58 ページ)
- RS-232C ポートインタフェース (58 ページ)
- LAN ポートインタフェース (60 ページ)

USB インタフェースをご使用の場合、45 ページの「5. プリンタドライバのインストール方法(USB)」をご覧ください。

※ LPT ポート、USB ポートの接続の場合、「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示されることがあります。そのときは、画面の右上の「×」、または「キャンセル」ボタンをクリックして画面を閉じてください。

パラレルポートのインストール

- ⑨「**パラレル (IEEE1284) インタフェース**」を選び、「**次へ**」ボタンをクリックします。
「**SATO ポート(推奨)**」を選び、「**OK**」ボタンをクリックします。



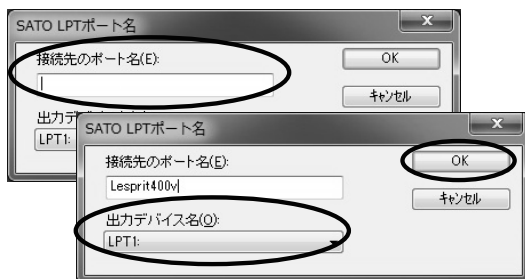
※ 「SATO ポート(推奨)」を選択して「OK」ボタンをクリックすると、⑩に変わります。

※ 「標準ポート」を選択して「OK」ボタンをクリックすると、⑪に移行し、インストールが完了します。

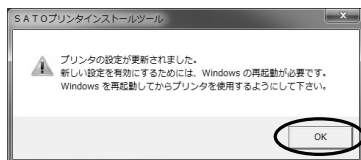


※ 標準ポートは「LPT1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信をおこなわない場合に指定します。
標準ポートの「LPT1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

- ⑩接続先のポート名(E)を入力します。出力デバイス名(O)を選び、「OK」ボタンをクリックします。

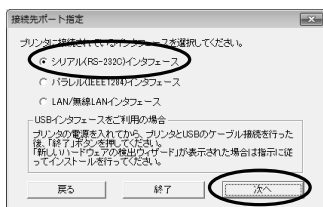


- ⑪「OK」ボタンをクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windowsを再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。



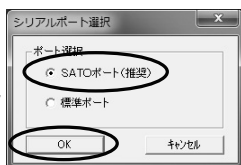
RS-232C ポートのインストール

- ⑨「シリアル(RS-232C)インタフェース」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。
「SATO ポート(推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。



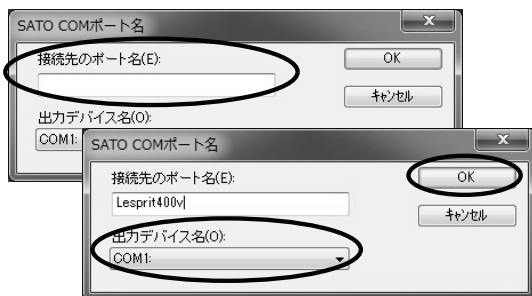
※ 「SATO ポート(推奨)」を選択して「OK」ボタンをクリックすると、⑩に変わります。

※ 「標準ポート」を選択して「OK」ボタンをクリックすると、⑩に変わり、インストールが完了します。

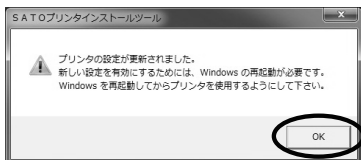


※ 標準ポートは「COM1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信をおこなわない場合に指定します。
標準ポートの「COM1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

- ⑩接続先のポート名(E)を入力します。出力デバイス名(O)を選び、「OK」ボタンをクリックします。

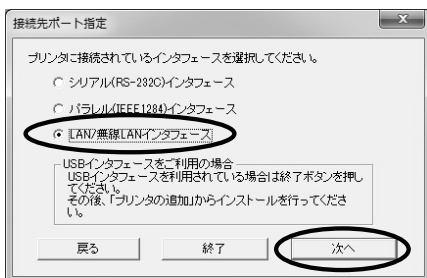


- ⑪「OK」ボタンをクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。

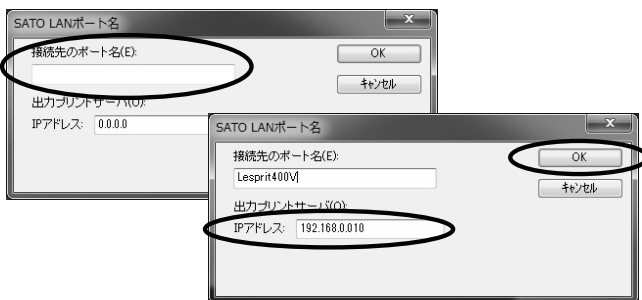


LAN ポートのインストール

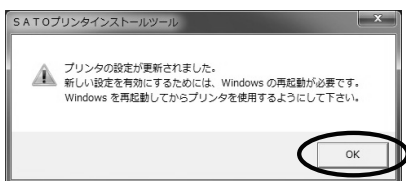
- ⑨「LAN/無線LAN インタフェース」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。
「SATO ポート(推奨)」を選び、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑩「接続先のポート名(E)」を入力します。
「出力プリントサーバ(O)IPアドレス」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑪「OK」ボタンをクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。



7. ラベル発行までの流れ(Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7)

アプリケーションソフトから作成したレイアウトを印字するときは、最初にプリンタドライバの設定を確認してからおこないます。

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 7 を使用しています。

Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

① プリントドライバの設定シートを開きます


Windows Vista の場合、プリントドライバのプロパティ画面を開くときは、「管理者として実行 (A)」を選択してください。「管理者として実行 (A)」を選択せずに設定すると、設定した値が有効になりません。ご注意ください。

①「デバイスとプリンター」フォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンを右クリックしてください。「プリンターのプロパティ(P)」を選択してください。プリントドライバのプロパティが開きます。



※ ここでは例として「Lesprit408v」を選択しています。

ヒント

「デバイスとプリンター」フォルダを開く一般的な方法は、 をクリックし、「コントロールパネル」から「デバイスとプリンター」を選択します。

②「共有」タブを選びます。



③「共有オプションの変更(O)」ボタンをクリックします。

※ 本操作は、Windows 7のみ必要です。



「共有オプションの変更(O)」が表示されない場合は、以下の操作をしてください。

- (1)「コントロールパネル」を開き、「ホームグループと共有に関するオプションの選択」を選びます。
- (2)「共有の詳細設定の変更...」を選びます。
- (3)「ファイルとプリンターの共有」の「ファイルとプリンターの共有を無効にする」にチェックをして、「変更の保存」ボタンをクリックしてください。

全ユーザーのプリンタドライバの設定をおこなうときは、「標準の設定」を使用します。
新規追加したユーザーのドライバの設定は、「標準の設定」の値が初期値になります。

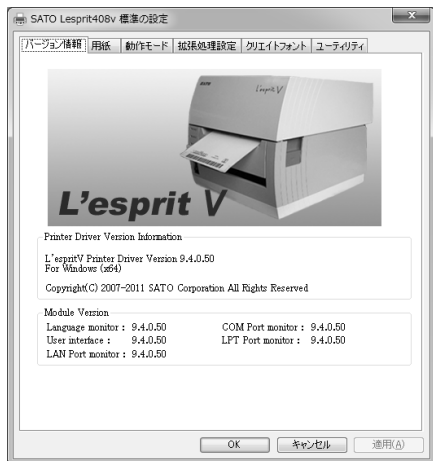
④「詳細設定」タブを選びます。



⑤「標準の設定(F)...」ボタンをクリックします。



⑥プリンタドライバの設定シートが開きます。



個別ユーザーのみのプリンタドライバの設定をおこなうときは、「基本設定 (E) ...」ボタンを使用します。

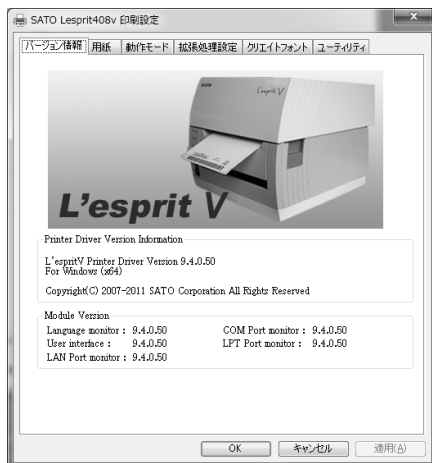
④「全般」タブを選びます。



⑤「基本設定(E)...」ボタンをクリックします。

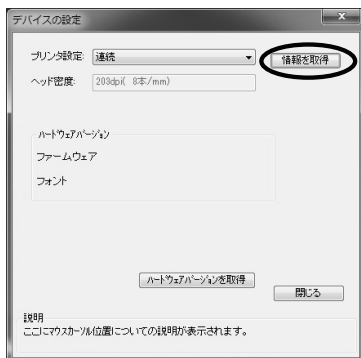
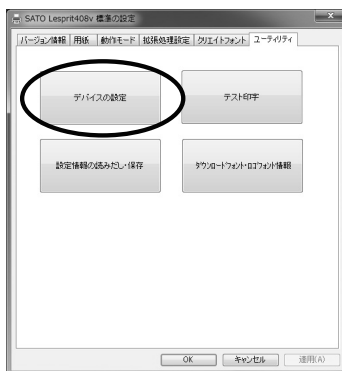


⑥プリンタドライバの設定シートが開きます。



② プリントドライバの状態を取得します

- ① 「ユーティリティ」タブを選択し、「デバイスの設定」ボタンをクリックします。



ヒント

プリンタの設定情報を取得します。

情報を取得する場合、プリンタの電源を入れた状態で「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

※ プリントドライバをインストールしたあとは、必ず「ユーティリティ」タブにある「デバイスの設定」ボタンをクリックし、デバイスの設定画面で「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

- ② プリンタの電源を入れてください。

- ③ 「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

プリンタ本体で指定しているプリンタ情報を取得し、「プリンタ設定」、「ヘッド密度」の欄に表示します。

プリンタ設定のリストボックスにて、プリンタの動作を選択し設定できます。

③用紙を選びます

①「用紙」タブを選びます。



②「用紙名」の▼をクリックして、表示されるリストから目的の用紙を選択してください。

「用紙名」には2種類の標準ラベルがあらかじめ登録されています。

標準ラベル1 115×115(mm)

標準ラベル2 178×115(mm)



※ 標準ラベル以外の用紙を使用するとき

「用紙登録」をクリックして新たに用紙を登録します。

「用紙登録」に関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に収められている「プリンタドライバ説明書」の「1.3 用紙」をご覧ください。

ヒント

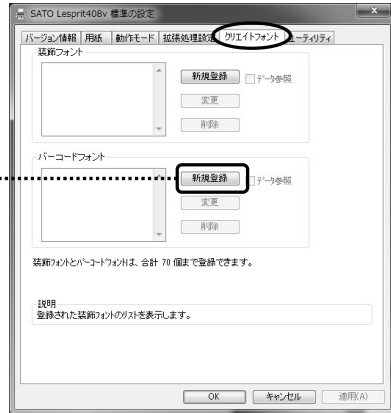
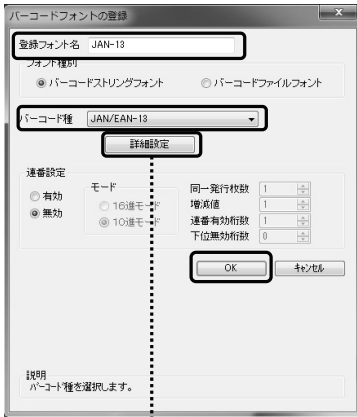
ここで選択した用紙がアプリケーションソフトで通常使用する用紙に設定されます。アプリケーションソフトによっては、あらかじめアプリケーションソフトの用紙選択機能において用紙を選択する必要があるものもあります。アプリケーションソフトの用紙選択機能に関しては、アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

注意 プリンタドライバ経由で発行する場合は、濃度指定と印字濃度レベルが有効となりますので、本設定で印字が適性になるように設定をお願いします。

④バーコードを印字するには

バーコードを印字するには、まず印字するバーコードの設定を「バーコードフォント」として登録する必要があります。その結果アプリケーションソフトからは、登録したバーコードフォントをフォント種として呼び出すことができます。以下に「バーコードフォント」の登録手順を示します。

- ①「**クリエイトフォント**」タブを選択し、「**バーコードフォント**」グループの「**新規登録**」ボタンをクリックしてください。



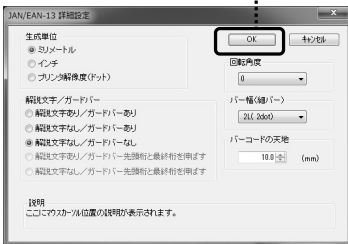
- ②「**登録フォント名**」に、登録するバーコードフォントの名称を入力してください。

- ③「**バーコード種**」の ▾ をクリックして、表示されるリストから、登録するバーコード種を選択し、「**詳細設定**」ボタンをクリックしてください。

- ④選択したバーコード種に対応する設定ダイアログが表示されます。

※ ここでは例として「JAN/EAN-13」の設定をおこなっています。

- ⑤設定が終了したら「**OK**」ボタンをクリックしてください。ひとつ前のダイアログに戻りますので、もう一度「**OK**」ボタンをクリックしてください。

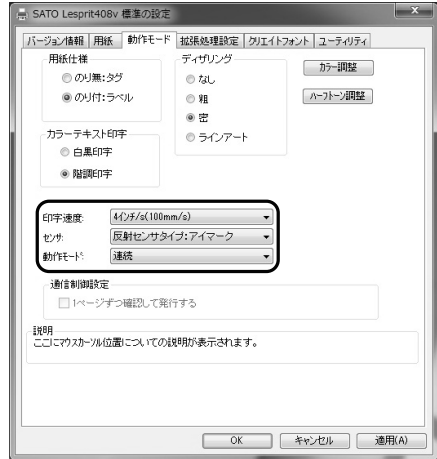


以上の手順でバーコードフォントを登録することにより、アプリケーションソフトからバーコードを印字することが可能となります。

注意 使用するアプリケーションによっては、プリンタドライバで設定した装飾フォント・バーコードフォントが印字できない場合があります。

⑤ プリンタ動作を設定します

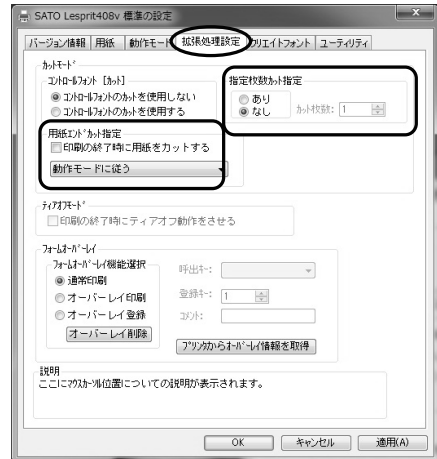
- ①「動作モード」タブを選びます。
- ②「印字速度」の▼をクリックして、表示されるリストから印字速度を選びます。
- ③「センサ」の▼をクリックして、表示されるリストから使用するセンサを選びます。
- ④「動作モード」の▼をクリックして、表示されるリストから動作モードを選びます。



⑥ カッタ付プリンタをご使用の場合

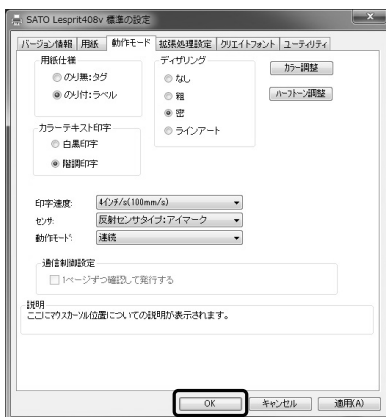
- ①「拡張処理設定」タブを選びます。
- ②一定枚数ごとにラベルをカットする場合は「指定枚数カット指定」を「あり」にして、「カット枚数」を設定してください。
- ③印刷終了ごとにラベルをカットする場合は「印刷終了時に用紙をカットする」チェックボックスにチェックし、カット動作を設定してください。

※「拡張処理設定」シートに関する詳細は、アクセサリCD-ROMに収められている「プリンタドライバ説明書」の「1.5 拡張処理設定」をご覧ください。



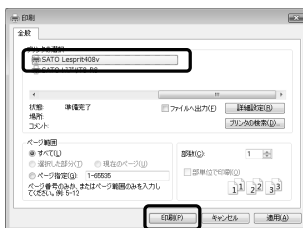
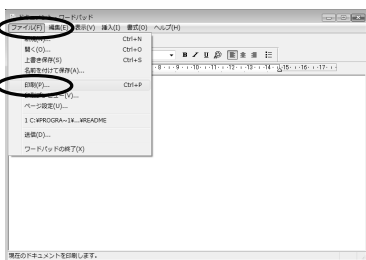
⑦設定が終わったら、プリンタドライバの設定シートを閉じます

設定シートの「OK」ボタンをクリックしてください。




⑧ラベル発行を開始します

印刷の開始方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログの「OK」ボタンをクリックすることで実行されます。ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書も併せてご覧ください。



ヒント

印刷の実行する前に、アプリケーションソフトが使用するプリンタドライバが、お使いのプリンタにあったドライバに設定されているか確認してください。

ドライバの設定方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には、「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログ中にある「プリンタ名(N)」の  をクリックし、表示されるリストから目的のものを選択することで設定できます。

またアプリケーションソフトによっては「③用紙を選びます」で選択した用紙を使用するために、アプリケーションソフトの用紙選択機能において、あらかじめ用紙を選択する必要があるものもあります。

注意 弊社ソフトウェア Multi LABELIST を使用した際、プリンタドライバの設定は有効になりません。

8. プリンタドライバのアンインストール方法

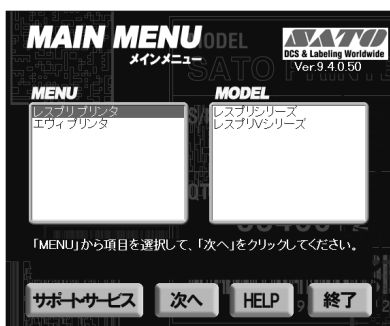
プリンタドライバをアンインストールする手順を説明します。

(Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7)

お願い

アンインストール作業を始める前に、使用中のアプリケーションはすべて終了してください。

- ① プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
- ② 「アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
- ③ 「メインメニュー」画面より、「レスプリプリンタ」をダブルクリックします。
- ④ 「レスプリプリンタ」画面より、「プリンタドライバ」ボタンをクリックします。
- ⑤ 「プリンタドライバ」画面より、アンインストールするプリンタを選びます。
- ⑥ 「アンインストール」ボタンをクリックします。



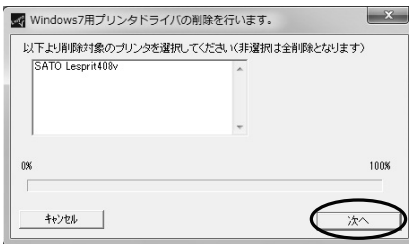
- ⑦ ユーティリティでドライバプロパティを保存している場合は、「はい (Y)」ボタンをクリックします。



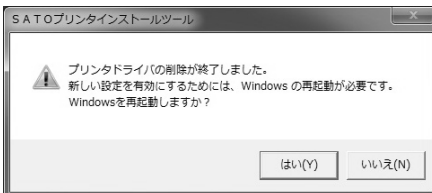
ヒント

アンインストールを実施すると「用紙」「クリエイティブフォント」などの指定した項目が削除されますので、ドライバの「ユーティリティ」の「設定情報の読みだし・保存」にてファイル保存をおこなってください。保存方法は、72 ページをご覧ください。

- ⑧ プリンタドライバをアンインストール(削除)します。
プリンタを選択せずにアンインストールすると、表示しているすべてのプリンタドライバを削除します。プリンタを選択してアンインストールすると、選択したプリンタドライバのみ削除します。
「次へ」ボタンをクリックすると、アンインストールを開始します。



- ⑨ 「はい(Y)」ボタンをクリックします。
以上でプリンタドライバのアンインストールは完了です。
Windows を再起動してください。



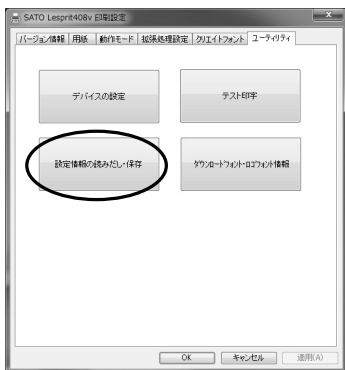
9. ファイル保存方法

Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7 のファイル保存方法について説明します。

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 7 を使用しています。

Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

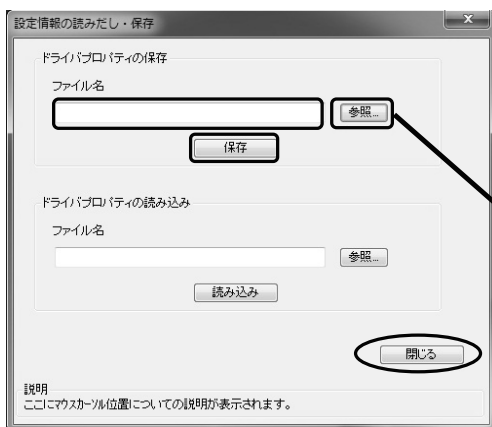
- ① プリンタドライバの「基本設定」または「標準の設定」を開き、「ユーティリティ」タブを選び、「設定情報の読みだし・保存」ボタンをクリックします。



ヒント

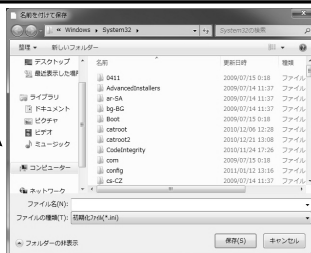
基本設定を開く方法は、64 ページをご覧ください。

- ② ファイル名を入力し「保存」ボタンをクリックします。



ヒント

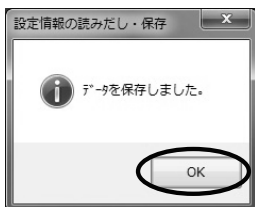
「参照」をクリックすると、任意の場所にファイル保存することができます。



ヒント

保存するファイルは、必ず拡張子「ini」を付加してください。

- ③ 「データを保存しました。」の表示後、「OK」ボタンをクリックします。



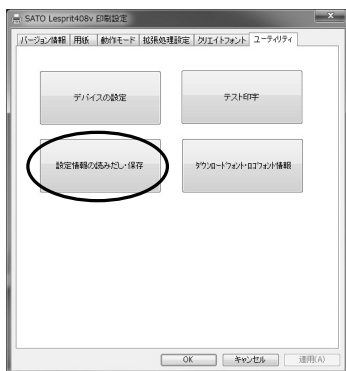
10. ファイル読み込み方法

Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008/7 のファイル読み込み方法について説明します。

※ 本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows 7 を使用しています。

Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008 では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

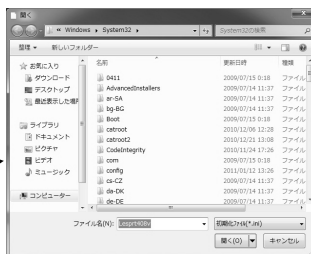
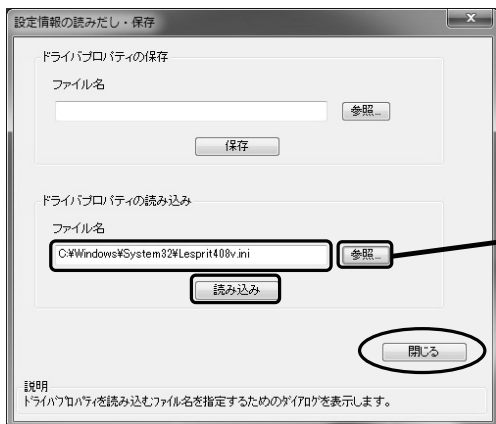
- ① プリンタドライバの「基本設定」または「標準の設定」を開き、「ユーティリティ」タブを選び、「設定情報の読みだし・保存」ボタンをクリックします。



ヒント

基本設定を開く方法は、64 ページをご覧ください。

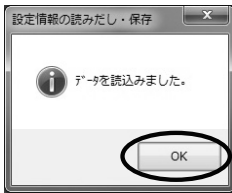
- ② 「参照…」ボタンをクリックしてファイルを読み込み、「読み込み」ボタンをクリックします。



ヒント

ファイルを読み込む場合は、必ず拡張子「.ini」を付加してください。

- ③ 「データを読み込みました。」の表示後、「OK」ボタンをクリックします。

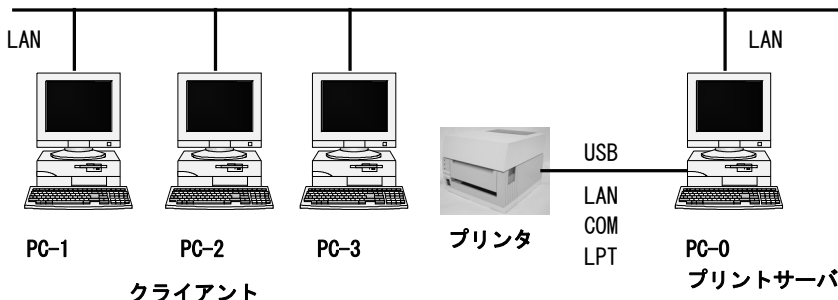


11. プリンタドライバ共有機能

プリンタドライバを共有設定で使用する場合のセットアップ手順について説明します。

1. 接続方法

接続は、下図に示しますように、1台の PC (PC-0) をプリントサーバにし、他の PC (PC-1、PC-2、PC-3、…) はクライアントとします。また、すべての PC は LAN 接続されており、プリントサーバとプリンタは LPT (もしくは COM、USB、LAN) で接続します。



2. プリンタドライバの設定方法

- ① プリントサーバ、クライアントともにアクセサリ CD-ROM より、プリンタドライバをインストールします。
 - 「プリンタ」フォルダの「プリンタ追加」アイコンにて追加した場合、必要なファイルがインストールされず正常動作しないおそれがあります(ネットワークコンピュータ上の共有プリンタアイコンのコピーも同じです)。
 - クライアントにプリンタドライバをインストールする場合、SATO ポートではなくローカルポート (LPT、COM) を指定してください。
 - プリントサーバにプリンタドライバをインストールする場合は、SATO ポートを指定してください。
- ② プリントサーバのプリンタドライバから正常にラベル発行ができることを確認後、プリンタドライバを「共有」に設定してください。

③クライアントのプリンタドライバの出力先ポートをサーバで設定した共有プリンタに指定します。

環 境	設定方法
Windows XP Windows Server 2003 Windows Vista Windows Server 2008 Windows 7	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「ポートの追加」→「Local Port」でポートの追加をおこないます。 ポート名に「¥¥共有 PC 名¥¥共有プリンタ名」を指定します。

④クライアント側のプリンタドライバの双方向通信を OFF にします。

環 境	設定方法
Windows XP Windows Server 2003 Windows Vista Windows Server 2008 Windows 7	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずします。 注意 出力先が SATO ポート (SATO LPT、SATO COM、SATO LAN) を指定していた場合、本操作をおこなうとプロパティ情報 (クリエイティブフォントや用紙情報など) が初期化されるおそれがあります。 出力先が SATO ポート以外であることを確認して本操作をおこなってください。SATO ポートが選択されていた場合は、一度ローカルポート (LPT、COM) を選択し、OK ボタンでポートの変更後に、本操作をおこなってください。

3. 制限事項

クライアントでは、「双方向通信」を無効設定にしているため、下記の制限事項が生じます。

- ①プリンタで発生した「用紙切れ」、「リボン切れ」などの各種エラーを認識することができません。
- ②「拡張処理設定」タブの「プリンタからオーバーレイ情報を取得」は使用できません。それに伴い「フォームオーバーレイ印刷」も使用できません。
- ③「ユーティリティ」タブの「デバイスの設定」の「情報を取得」と「ハードウェアバージョンを取得」は使用できません。
- ④「動作モード」タブの「動作モード」指定、および「用紙」タブの「メカニズム補正—各種オフセット」指定が制限されます。

12. Q&A

Q1 「プリンタドライバがインストールできない、インストール時にエラーが発生する」

チェック インストールしようとしているユーザーは Administrator 権限ですか？

Administrator 権限ユーザーでインストールをおこなってください。

チェック OS が Windows Server 2003 などターミナルサービスが起動されていませんか？

ターミナルサービスを一時的に停止するか、モードをインストールモードに変更してインストールをおこなってください。

チェック リモートデスクトップなどを利用して遠隔コンピュータからインストールしようとしていませんか？

インストールするコンピュータ上でインストールをおこなってください。

チェック 古いバージョンのプリンタドライバが既にインストールされていませんか？

アンインストーラーを使って古いバージョンのプリンタドライバをアンインストールし、コンピュータを再起動して最新のプリンタドライバでインストールをおこなってください。

Q2 「印刷に失敗する」

チェック プリンタの電源は入っていますか？プリンタにケーブルは接続されていますか？

プリンタの電源を入れ、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

チェック プリンタの通信プロトコルは、ステータス 4 になっていますか？

プリンタドライバを使用する場合、通信プロトコルはステータス 4 に限定されます。

プリンタの通信プロトコルをステータス 4 に設定してください。

チェック プリンタドライバの COM ポートは正常に動作していますか？(RS-232C をご使用の場合)

プロパティのポートタブにて、印刷ポートを COM に指定し、ポートの構成のデバイスチェックで「本デバイスは他ドライバで使用しているため使用できません」と表示される場合、他のドライバがその COM を専有しています。印字対象以外のプリンタドライバのポート設定を確認し、COM の設定を外してください。

Q3 「プリンタで印字したバーコードが読めない」

チェック バーコードがイメージで作成されていませんか？

プリンタドライバを使用して、バーコードフォントやバーコードイメージ(BMP)などを印字する場合、印字されたバーコードがスキャナで読み取りできない場合があります。これは描画されたバーコードとプリンタの解像度が異なることでバーコードを正しく印字できないことが原因です。プリンタドライバのクリエイティブバーコードをご利用ください。

Q4 「プリンタドライバで設定した印字速度や印字濃度、基点補正などが有効にならない」

チェック 使用しているアプリケーションソフトを確認してください。

弊社ソフトウェア (Multi LABELIST シリーズなど) を使用した場合、プリンタドライバの印字設定が有効になりません。弊社ソフトウェア側のプリンタ印字条件を確認してください。

Q5 「印字がずれる」

チェック プリンタドライバの用紙設定がされていますか？

プリンタドライバの用紙設定でご使用のラベルサイズで用紙登録をおこない、登録した用紙を選択して発行してください。

※ 現象が解消しない場合は、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。

13. レスプリ互換モード設定

はじめに

本機能は、レスプリシリーズプリンタが導入されている環境にレスプリ V シリーズプリンタを追加導入や置換え導入した際に設定します。

レスプリ V シリーズプリンタをレスプリシリーズのプリンタドライバと接続する場合、互換モードに設定してください。

レスプリ互換モードの設定は、DSW3-2 で設定します。

レスプリ互換モードの初期値は、標準モードになります。

レスプリ互換モードの各インタフェースの設定は下記になります。

	ON : 標準モード	OFF : 互換モード
①USB インタフェース 接続	OS 標準 USB 印刷サポート 〔レスプリ V シリーズ プリンタドライバ専用〕	SATO USB ポート 〔レスプリシリーズ プリンタドライバ専用〕
②パラレル (IEEE1284) インタフェース接続	プラグアンドプレイ時に レスプリ V シリーズの ID を返送します	プラグアンドプレイ時に レスプリシリーズの ID を 返送します
③LAN インタフェース 通信プロトコル	ENQ 応答ステータス*	周期応答ステータス*

* ③LAN インタフェース接続の通信プロトコルは、DSW3-2 が ON の設定が初期値になります。

通信プロトコルの設定は、プリンタ設定ツールを使用して切替えることができます。プリンタ設定ツールの使用方法は、アクセサリ CD-ROM にある「プリンタ設定ツール説明書」をご覧ください。

14. アクセサリ CD-ROM

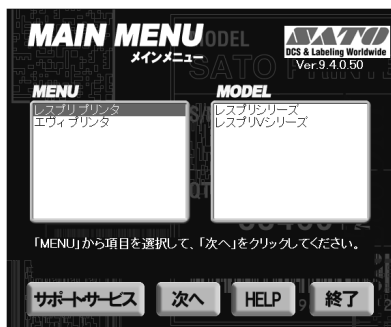
付属品の「SATO アクセサリ CD-ROM」は、以下の項目を提供しています。

1. プリンタドライバ(インストール/アンインストール)
OS
・Windows XP 版
・Windows Server 2003 版
・Windows Vista 版
・Windows Server 2008 版
・Windows 7版
プリンタドライバ対応機種
・レスブリシリーズ
・レスブリ V シリーズ
・EV208R
・EV212R
レスブリプリンタ
エヴィプリンタ
2. ユーティリティ
レスブリシリーズプリンタ設定ツール
レスブリシリーズネットワークユーティリティ
レスブリ V シリーズプリンタ設定ツール(ネットワーク設定ツール)
レスブリ V シリーズ無線 LAN ユーティリティ
フォント・ロゴ作成ツール
レスブリプリンタ
EV208R/212R プリンタ設定ツール
フォント・ロゴ作成ツール
エヴィプリンタ
3. マニュアル(PDF)
使用許諾書
SBPL プログラミングガイド
フォント・ロゴ作成ツール説明書
レスブリシリーズネットワークユーティリティ説明書
レスブリ V シリーズ無線 LAN ユーティリティ説明書
レスブリシリーズプリンタ設定ツール説明書
レスブリ V シリーズプリンタ設定ツール説明書
レスブリプリンタ
プリンタドライバ説明書
プリンタドライババージョン一覧表
使用許諾書
SBPL プログラミングガイド
フォント・ロゴ作成ツール説明書
プリンタドライバ説明書
プリンタ設定ツール説明書
プリンタドライババージョン一覧表
エヴィプリンタ
4. リンク先
サポートセンター
ホームページ
Adobe Reader のダウンロードサイト
全機種共通

アクセサリ CD の画面遷移

CD-ROM を、CDドライブにセットすると、「メインメニュー」が表示されます。

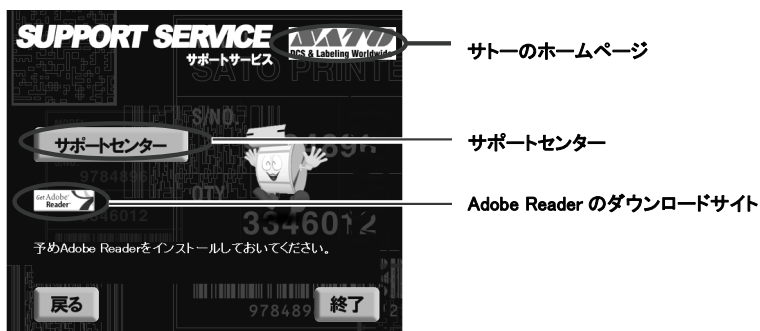
※ 画面が表示されないときは、エクスプローラで CD-ROM の「AcclInstall.EXE」をクリックしてください。「メインメニュー」が表示されます。



「メインメニュー」から「レスプリプリンタ」をダブルクリックすると、「レスプリプリンタ」に移行します。



「メインメニュー」から「サポート・サービス」ボタンをクリックすると、「サポートサービス」に移行します。



レスブリプリンタから各項目をクリックすると各画面に移行します。

メインメニュー



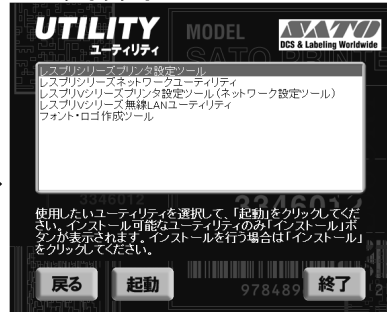
レスブリプリンタ



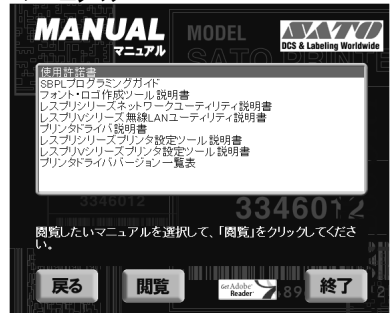
プリンタドライバ



ユーティリティ



マニュアル



マニュアルを開覧する前に必ず、Adobe Reader をインストールしてください。

15. ご注意

●ご注意

本 CD-ROM を音楽プレイヤーで再生しないでください。スピーカを破損したり、耳を傷つけるおそれがあります。製品を安全にご使用いただくために、「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。フォント、ロゴデータについては、お客様にてマスターデータの管理をお願いします。いかなる時もプリンタ本体に登録されているデータは保証いたしません。

●使用許諾について

本ソフトウェアをご使用いただく上で、はじめに CD-ROM の中にある使用許諾書をご確認ください。

●動作環境について（お使いになるコンピュータは以下のスペックを推奨します。）

- ◆米国マイクロソフト社の推奨スペックでご使用ください。
- ◆画面の表示色 32,000 [High Color (16 ビット)] 以上の表示
- ◆画面サイズ 1024 × 768 ピクセル以上
- ◆対応 OS
 - <x86 版 OS>
 - Windows XP Home Edition、Windows XP Professional
 - Windows Vista Home Basic、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business
 - Windows Vista Ultimate
 - Windows 7 Home Premium、Windows 7 Professional、Windows 7 Ultimate
 - Windows Server 2003 Standard、Windows Server 2003 R2 Standard、Windows Server 2003 R2 Enterprise
 - Windows Server 2008 Standard
 - <x64 版 OS>
 - Windows 7 Home Premium、Windows 7 Professional、Windows 7 Ultimate
 - Windows Server 2008 Standard、Windows Server 2008 R2 Standard

●Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

●Adobe Reader など他の製品名は、各社の商標または登録商標です。

MEMO

MEMO

MEMO



* Q02154003 *